

令和5年度(令和4年度実績事業)

下田市教育委員会自己点検・評価報告書

令和5年12月

下田市教育委員会

目 次

はじめに	1
教育委員会点検・評価の概要	
1 点検・評価の趣旨	2
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 教育委員会会議の審議状況	3～6
4 教育委員会会議以外の活動状況	5
5 施策ごとの取組状況	7～9
点検・評価シート	10～52
6 有識者委員会	53
7 有識者委員会の意見	53
8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱	61

はじめに

下田市教育委員会の自己点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、毎年、その権限に属する主要な施策や事務事業について1年間の活動状況の課題や取組の方向性を、自ら点検及び評価を行い、有識者による外部の知見を入れることで、今後の効果的な教育行政の一層の推進を図るものです。

本報告書の作成に当たっては、点検・評価の客観性を確保するために、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会から点検・評価の内容及び手法に対するご意見をお聞きしました。

この点検・評価の結果を今後の施策に十分に反映させることで、本市の教育施策が適切、円滑に推進できるよう取組の強化を図ってまいります。

下 田 市 教 育 委 員 会

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

下田市教育委員会名簿

（令和4年度当初 在籍委員）

職 名	氏 名
教 育 長	佐々木 文夫
	令和4年7月21日～ 山田 貞己
教 育 長 職 務 代 理 者	田中 とし子
委 員	渡邊 亮治
	令和4年12月13日～ 宮内 慎也
委 員	西堀 政幸
委 員	天野 美香
	令和5年1月31日～ 西川 紀栄

教育委員会点検・評価の概要

1 点検・評価の趣旨

(1) 点検・評価の目的

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「地教行法」という。）第26条の規定に基づき、毎年事務の管理及び執行状況について、学識経験を有する者の知見の活用を図り、自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告するとともに、市民に公表しています。

この自己点検・評価は、教育委員会の責任体制の明確化と教育行政の説明責任を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

点検・評価にあたっては、令和4年度に実施した事務事業について、令和3年4月から令和8年3月までの5年を対象期間とする下田市教育大綱で掲げる本市教育の基本理念『下田に誇りをもち、未来を切り拓く志をもった人』を目指し、その実現のための6つの取り組みである、「下田を感じる、味わう、好きになる取組」、「未来について思考する取組」、「居場所づくりに向けた取組」、「資質・能力を育成する取組」、「健やかな心身を育成する取組」及び「教育政策推進のための基盤整備に向けた取組」に分類して、点検・評価の対象としました。

(3) 点検・評価の方法

点検・評価については、施策、事業の執行状況を明らかにするとともに、課題等を分析検討した上で、今後の対応方向を記述しました。

事業は、点検・評価シートに基づき点検・評価を行い、教育委員の評価として

S	「確実な成果を出している。」
A	「一定の成果を出している。」
B	「やや成果が低い。」
C	「成果が低い。」

のいずれかの評価とその評価に基づくコメントを記載しました。

なお、令和4年度の取り組みにおいて新型コロナウイルス感染症拡大により、事業の実施に多大な影響があったものは、評価ランクを（ ）表記としました。

また、点検・評価の客観性の確保のため、教育に関し学識経験を有する方等、外部の意見をお聞きするため、外部評価委員会を開催しました。

2 教育委員会会議の開催状況

教育委員会では、毎月20日以降を目処に月1回の定例会を開催する計画を立て、必要に応じて臨時会を開催しています。

令和4年度は、12回（定例会12回）会議を開催しました。

定例会	臨時会	合計
12回	0回	12回

3 教育委員会会議の審議状況

地教行法第21条及び下田市教育委員会会議規則（平成27年下田市教育委員会規則第2号）に基づき、令和4年度は47件の議案を審議しました。

区分	番号	議案名
4月定例会 4月21日(水)	報第4号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館長の任命について)
	報第5号	専決処分の承認を求めることについて (下田市青少年歩道センター補導員の委嘱について)
	報第6号	専決処分の承認を求めることについて (下田市社会教育委員の委嘱について)
	報第7号	専決処分の承認を求めることについて (下田市公民館運営審議会委員の委嘱について)
	報第8号	専決処分の承認を求めることについて (社会教育指導員の任命について)
	報第9号	専決処分の承認を求めることについて (下田市スポーツ推進委員の委嘱について)
	報第10号	専決処分の承認を求めることについて (下田市立図書館協議会委員の任命について)
	議第14号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
5月定例会 5月27日(金)	議第15号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和4年度下田市一般会計補正予算(第4号)教育委員会)
	議第16号	下田市学校給食運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について
	議第17号	下田市学校給食運営協議会委員の委嘱について
	議第18号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
	議第19号	下田市教育委員会教育長の辞職の同意について
6月定例会 6月24日(金)	議第20号	要保護及び準要保護児童生徒の認定について
7月定例会 7月26日(火)	議第21号	市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和3年度下田市一般会計補正予算(第5号)教育委員会)

8月定例会 8月25日(木)	議第22号 議第23号 議第24号 議第25号	下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 下田市いじめ問題対策専門委員会委員の委嘱について 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市立幼稚園条例を廃止する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和4年度下田市一般会計補正予算(第7号)教育委員会)
9月定例会 9月29日(木)	—	議事なし
10月定例会 10月20日(火)	報第11号	専決処分の承認を求めることについて (下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について)
11月定例会 11月24日(木)	報第12号 議第26号 議第27号 議第28号 議第29号	専決処分の承認を求めることについて (令和4年度下田市一般会計補正予算(第9号)教育委員会) 下田市立中学校部活動在り方検討協議会設置要綱の制定について 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和4年度下田市一般会計補正予算(第10号)教育委員会) 要保護及び準要保護児童生徒の認定について 下田市教育委員会委員の辞職の同意について
12月定例会 12月27日(火)	報第13号	専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務職員の人事について)
1月定例会 1月26日(火)	議第1号	令和5年度下田市立小・中学校教職員の人事の基本方針について
2月定例会 2月24日(金)	報第1号 議第2号 議第3号 議第4号 議第5号 議第6号 議第7号 議第8号 議第9号	専決処分の承認を求めることについて (教育委員会事務局職員の人事について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (下田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和4年度下田市一般会計補正予算(第11号)教育委員会) 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について (令和5年度下田市一般会計予算 教育委員会) 下田市学校運営協議会規則の制定について 下田市地域学校協働活動推進委員設置要綱の制定について 静岡県費負担教職員人事の内申について

3月定例会 3月24日(金)	議第10号	下田市教育委員会事務局職員の人事異動について
	議第11号	下田市教育委員会の所管に係る個人情報の保護に関する法令等施行規則の制定について
	議第12号	下田市学校給食費に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	議第13号	下田市立幼稚園管理規則を廃止する規則の制定について
	議第14号	自家用車の公務使用に関する取扱要綱の一部を改正する告示の制定について
	議第15号	下田市立幼稚園等預かり保育実施要綱を廃止する告示の制定について
	議第16号	下田市ファミリーサポートセンター事業実施要綱の一部を改正する告示の制定について
	議第17号	下田市幼稚園及び保育所再編整備検討委員会設置規程を廃止する告示の制定について
	議第18号	下田市立学校処務規程の一部を改正する訓令の制定について
	議第19号 議第20号	下田市学校教育の基本方針について 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

○議案審議の内訳

内 容	件 数
基本方針	2件
議案の原案の決定	11件
規則及び規程等の制定又は改廃	12件
人事	17件
要保護及び準要保護児童生徒の認定	5件
その他	0件
合 計	47件

4 教育委員会会議以外の活動状況

(1) 教育委員会点検評価有識者委員会

開 催 日	場 所
11月14日(月)	下田市立中央公民館 大会議室

(2) 下田市総合教育会議

開 催 日	場 所
8月25日(木)	下田市立中央公民館 大会議室
2月24日(金)	下田市立中央公民館 大会議室

(3) その他

開 催 日	内 容
4月13日(水)	下田中学校開校式
2月27日(月)	下田市教育委員会教育奨励賞授与式

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年実施している教育施設訪問は、実施しませんでした。

5 施策ごとの取組状況

教育委員会では、目標を実現させるための取組に対応する事業について点検・評価シートを作成し、内部で点検・評価を行い、その後外部評価をいただき、意見をまとめました。

◇下田を感じる、味わう、好きになる取組

目標実現のための取組		事業等	Page
「自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	体験プログラム事業	10
		青少年健全育成事業	11
		社会体育活動推進事業	
	下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探究を通して学びます	成人活動推進事業	12
		公民館活動推進事業	
		芸術文化振興事業	13
		市史編さん事業 芸術文化振興事業	14
	開国のまちの特色を生かして国際的なコミュニケーション能力を身に付けます	英語力向上推進プロジェクト事業 英語検定受検推進事業 ALT、外国語指導助手配置	15

◇未来について思考する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします	未来の下田創造プロジェクト	16
		青少年活動推進事業	17
	下田内外の職場や働く人の生き方から学びます	地域人材活用 総合的な学習の時間	18

◇居場所づくりに向けた取組

目標実現のための取組		事業等	Page
安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	公立保育所・認定こども園・幼稚園・民間保育所事業	19
		放課後児童対策事業	
		地域子育て支援センター運営事業	20
		ファミリーサポートセンター事業	
		子ども・子育て支援事業	21
		子ども子育て会議	
		児童生徒適応指導事業	22
		特別支援教育体制推進事業	
児童・生徒援護事業	23		
		児童・生徒援護事業	24

安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	不登校等対策連絡協議会 いじめ防止への対応 生徒指導研修会 人権教育	25・26
		学校公開・学校評価	27
		青少年健全育成事業	28
	命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	通学路安全対策事業	29
		児童・生徒通学費補助事業 中学生自転車安全対策	30
	防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します	地域と連携した防災・防犯教育	31

◇資質・能力を育成する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます	市指定研究校への支援 研修主任研修の開催 校内研修への支援	32
	未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます	教育資金利子補給事業 奨学奨励費交付事業	33
	学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	授業づくり支援 初任者研修会の開催	34

◇健やかな心身を育成する取組

目標実現のための取組		事業等	Page
生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	小・中学生対外派遣事業補助金 部活動指導員配置事業	35
		学校給食管理運営事業	36
		保健体育総務事務 社会体育活動推進事業	37
		下田市民スポーツセンター 管理運営事業	38
	吉佐美運動公園管理運営事業 社会体育活動推進事業	39	
	道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します	道徳教育の充実	40
		学校司書の配置・新刊図書の購入 学校図書館蔵書管理システム導入の拡大	41・42
		図書館管理運営事業	43

◆教育政策推進のための基盤整備に向けた取組

目標実現のための取組		事業等	Page
5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組めます	人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充	小・中学校管理事業	44
	I C T、ネット環境に関する基盤整備	G I G Aスクール構想の推進 小・中学校教育振興事業 賀茂地域校務事務共同化協議会	45
	子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティネットの構築	スクールソーシャルワーカー、 スクールカウンセラーの配置 関係機関との連携	46
		新型コロナウイルス感染症 拡大防止対策	47・48
	生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	青少年海の家管理運営事業	49
下田市民文化会館管理運営事業		50	
公民館管理運営事業		51	
図書館管理運営事業		52	

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	
事業等	体験プログラム事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【体験プログラム事業補助金：3,708千円】		
	稲梓小	海の体験、鮎の友釣り、うなぎもじり、お餅づくり、工芸、昔遊び、いちご狩り、下田ロープウェイ乗車、椎茸菌打ち、陶芸、稲作	
	稲生沢小	海の体験、シーカヤック、コピックイラスト、ボートウォッチング、陶芸、下田海中水族館バックヤード見学、フォトフレーム作り、いちご農園見学等	
	白浜小	寝姿山探索、サスケ号乗船、iZoo、ジノ村小教育、ドルフィンタッチ、干物作り、稲作、歴史学習、サフィン教室	
	浜崎小	野菜作り、天草、理科実験教室、下田海中水族館見学、キャンドル作り、シーカヤック、障害者スポーツ、ジオ学習、いちご狩り等	
	下田小	サスケ号乗船、ジノ村小教育、寝姿山探検、ツリークライミング、いちご狩り、オリジナルグッズ作り等	
	大賀茂小	稲作、町探索、いちご狩り、ジノ村小教育、下田海中水族館バックヤード見学、パン作り、お飾り作り等	
	朝日小	下田海中水族館見学、下田ロープウェイ乗車、サスケ号乗船、ハーバリウム作り、シーカヤック、カブ、いちご農家見学、柿狩り、干物作り等	
	下田中	校外学習体験、職業講話、ねりきり体験、地域学習、職場体験、もの作り体験、下田満喫体験	
検 証	下田の豊かな自然、歴史、文化を感じるにより、下田を好きになる取組として、体験プログラム事業を実施した。地域の体験を通じてたくさんの感動が生まれるとともに、児童生徒一人ひとりの豊かな感性を育むことに繋がった。新型コロナウイルス感染症の影響がある中での実施だったが、感染拡大防止に努め、工夫しながら様々な事業にチャレンジし、95回の体験事業を実施し、全ての学校が前年よりもたくさんの活動を行うことが出来た。		
今後の課題 方 向 性	教育大綱に掲げる重要な取組の一つとして、地域人材の育成も踏まえ、事業を継続して実施したい。		
教育委員会 評 価	(S) 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	
	B やや成果が低い	C 成果が低い	
評価に対する コ メ ン ト	下田市の恵まれた自然や歴史・文化を生かした体験学習を通じ、児童生徒の郷土を愛する心を育成するよう、より一層充実させていきたい。		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな自然（海、山、川、ジオ）を体験する活動を通して学びます	
事業等	青少年健全育成事業、社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	講座開催状況		
	月 日	講 座 名	参加者
	8月6日(土)	親子漁船釣り教室	中止
	8月21日(日)	オリジナルフォトフレーム作り体験	26名(親子・小中学生)
	10月29日(土)	親子和菓子作り教室	20名(親子・小学生)
検 証	3月18日(土) 予備日26日(日)	ツリークライミング教室	中止
	<p>【地域おこし協力隊】</p> <p>スポーツを文化として定着させ、スポーツによるまちおこしを目指すため、地域おこし協力隊員2名(スポーツ・アウトドアスポーツ振興)の支援を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊員報償費 6,050千円 ・地域おこし協力隊支援業務委託 2,750千円 		
今後の課題 方向性	<p>身近にある恵まれた自然環境と地域の特性を活かした体験的な講座を開設し、子どもたちが自然にふれあう機会を創出する事業を企画した。</p> <p>親子漁船釣り教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ツリークライミング教室は予備日も含め荒天のため中止となった。</p> <p>海の環境問題(シーグラスやマイクロプラスチック)を親子で学びながら、それらを活用したオリジナルフォトフレーム作り体験教室を開催した。</p> <p>民間主催のサーフィンスクールへの協力及び、地域おこし協力隊は、ライフセービング等の大会誘致や、トライアスロン等の合宿誘致を実施した。</p> <p>また、市民の健康維持や体力向上のため、トレーニング教室やストレッチ教室等を開催した。</p>		
	<p>学校教育での自然体験活動を補うための事業として、家庭教育にもつながる親子で参加できる自然体験教室を中心に、地域を活用した様々な体験ができるような事業の実施に努める。</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、自然環境を活かしたスポーツの合宿・大会誘致などを含めたマリンスポーツの推進事業を展開する。</p>		
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	(A)一定の成果を出している C 成果が低い	
評価に対する コメント	<p>家庭、地域、学校と関係機関が連携し、下田の歴史や風土を生かした親子で楽しめる事業や地域おこし協力隊の協力を得ながら、下田における自然環境を活かしたスポーツの充実を図っていきたい。</p>		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます	
事業等	成人活動推進事業・公民館活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	各種学級の開設			
	名称	対象	延人員	内容
	寿大学	高齢者	506人	教養講座、健康講座、安全講座（11回）
	寿大学趣味クラブ	高齢者	中止	カラオケ
	家庭教育学級	保護者	1,085人	9学級、親の役割と青少年の育成等
	公民館講座	一般	64人	2講座
	水産・海洋学講座	中学生以上	130人	県・大学の研究機関等による市民講座（4回）
	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級委託 135千円 ・公民館講座講師謝礼 46千円 			
検証	<p>高齢者を対象とした寿大学（11回実施）を開設した。寿大学趣味クラブは新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。また、公民館ごとに講座を2講座13回開催し、延べ64人の参加であった。県、大学の研究機関等による市民講座として、水産・海洋学講座（4回）を開催し、130人が参加した。</p> <p>寿大学などは、毎年参加される高齢者が多く、生きがいづくりにもつながっている。水産・海洋学講座は、幅広い世代から多くの方が受講され、下田らしい特色ある講座として、市民の生涯学習活動の推進につながっている。</p> <p>幼稚園、小中学校PTAに家庭教育学級の実施を委託し、各学級ごとの課題に対応した事業が実施され、家庭教育力の向上につながった。また、各学級の代表者を対象とした研修会を開催し、各学級の事業が充実するように努めた。</p>			
	<p>各種事業・講座とも新規受講者を増やすためのPRや、グローバルCITYプロジェクトに向けた下田の魅力を再発見できるような新たな講座の実施も検討していく。</p> <p>郷土に関わる民間主催の講演会など、市民の生涯学習の推進に繋がる事業は、積極的に後援又は支援する。</p>			
	今後の課題 方向性			
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している		
	B やや成果が低い	C 成果が低い		
評価に対する コメント	<p>継続して受講する高齢者が多い講座は、楽しみや健康にもつながるような内容の充実を図り、幅広い世代を対象とした、下田の魅力を再発見できるような新たな事業を検討し、生涯学習の場の充実を図っていきたい。</p>			

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○下田の豊かな資源（文化、歴史、伝統）の探求を通して学びます	
事 業 等	市史編さん事業、芸術文化振興事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【市史編さん】</p> <p>『資料編4』近現代、『通史編(上)』考古・古代・中世・近世、『通史編(下)』近現代の刊行に向け、資料収集、資料調査、原稿作成等を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬（市史編さん補助） 1,108千円 ・報償費（市史編さん委員の調査活動等謝金） 2,788千円 <p>【文化財等の保存と活用】</p> <p>吉田松陰寓寄処の修繕及び耐震補強工事に向けた計画策定等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐震補強計画策定業務 781千円、耐震診断業務 1,111千円、電灯設備修繕 152千円（県文化財保存費補助金 1,021千円） ・入場者数 1,822人 <p>【グローバル推進事業】</p> <p>地域学習として郷土の歴史に対する知識向上に繋がる事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉田松陰関連史跡巡りイベント「しょういん探検隊」参加者 18名（親子8組） ・開港170周年プレ講演会「開国のまち下田」受講者 48名 ・出前講座「こんなにあります市内の文化財」1団体
検 証	<p>刊行予定の書籍の資料収集、資料調査や執筆の進捗状況について市史編さん委員と打合せを行いながら、刊行に向けた原稿作成等を行った。</p> <p>静岡県指定史跡吉田松陰寓寄処の維持管理に努め、震災等への対応とした耐震補強計画を策定し、将来にわたる安定的な保護・保存につなげた。</p> <p>開港170周年プレ講演会など、グローバルCITYプロジェクトによる地域学習の推進に努めた。</p>
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>『通史編』の刊行を早期に行いたい。</p> <p>吉田松陰寓寄処の耐震補強工事を実施し、入館者の安全・安心を確保する。</p> <p>また、入館者の増加につながるようなイベントの開催や、周知を図る。</p> <p>歴史講座の開催など、地域学習を推進し、文化財等の保護保存にも努め、グローバルな人材育成につなげるために、文化財等の活用を継続していく。</p>
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>早期の通史編の刊行に努めたい。</p> <p>吉田松陰寓寄処の安全性を確保し、文化財の保存及び活用を図っていききたい。</p> <p>グローバルCITYプロジェクトの取り組みである地域学習を充実させていきたい。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組		
	◇自然、歴史、文化をフィールドとした体験を通して豊かな感性を育み、表現力を磨きます	○開国のまちの特色を生かして国際的なコミュニケーション能力を身に付けます	
事業等	英語力向上推進プロジェクト事業・英語検定受検推進事業・ALT、外国語指導助手配置	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【中学校ALT・小学校外国語活動社会人活用：4,937千円】 小中学校8校全てに指導助手（地域の社会人活用）及びALTを配置。 *ALT：外国語指導助手</p> <p>【英語検定受検推進事業：823千円】 児童50人、生徒174人、計224人に英語検定受検料を全額補助。</p> <p><補助内訳> ()は合格者数 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">受検級</th> <th colspan="2">児童受検者</th> <th colspan="2">生徒受検者</th> <th colspan="2">受検者計</th> </tr> <tr> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1級</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>準1級</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>2級</td> <td>3(3)</td> <td>1(0)</td> <td>3(0)</td> <td>1(0)</td> <td>6(3)</td> <td>2(0)</td> </tr> <tr> <td>準2級</td> <td>0</td> <td>1(1)</td> <td>16(10)</td> <td>24(20)</td> <td>16(10)</td> <td>25(21)</td> </tr> <tr> <td>3級</td> <td>1(1)</td> <td>2(2)</td> <td>77(69)</td> <td>64(40)</td> <td>78(70)</td> <td>66(42)</td> </tr> <tr> <td>4級</td> <td>8(7)</td> <td>17(8)</td> <td>86(63)</td> <td>59(50)</td> <td>94(70)</td> <td>76(58)</td> </tr> <tr> <td>5級</td> <td>38(28)</td> <td>29(20)</td> <td>84(76)</td> <td>26(24)</td> <td>122(104)</td> <td>55(44)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>50(39)</td> <td>50(31)</td> <td>268(220)</td> <td>174(134)</td> <td>318(259)</td> <td>224(165)</td> </tr> </tbody> </table>						受検級	児童受検者		生徒受検者		受検者計		R3	R4	R3	R4	R3	R4	1級	0	0	1(1)	0	1(1)	0	準1級	0	0	1(1)	0	1(1)	0	2級	3(3)	1(0)	3(0)	1(0)	6(3)	2(0)	準2級	0	1(1)	16(10)	24(20)	16(10)	25(21)	3級	1(1)	2(2)	77(69)	64(40)	78(70)	66(42)	4級	8(7)	17(8)	86(63)	59(50)	94(70)	76(58)	5級	38(28)	29(20)	84(76)	26(24)	122(104)	55(44)	計	50(39)	50(31)	268(220)	174(134)	318(259)	224(165)
	受検級	児童受検者		生徒受検者		受検者計																																																																					
R3		R4	R3	R4	R3	R4																																																																					
1級	0	0	1(1)	0	1(1)	0																																																																					
準1級	0	0	1(1)	0	1(1)	0																																																																					
2級	3(3)	1(0)	3(0)	1(0)	6(3)	2(0)																																																																					
準2級	0	1(1)	16(10)	24(20)	16(10)	25(21)																																																																					
3級	1(1)	2(2)	77(69)	64(40)	78(70)	66(42)																																																																					
4級	8(7)	17(8)	86(63)	59(50)	94(70)	76(58)																																																																					
5級	38(28)	29(20)	84(76)	26(24)	122(104)	55(44)																																																																					
計	50(39)	50(31)	268(220)	174(134)	318(259)	224(165)																																																																					
検証	<p>中学校ALT・小学校外国語活動の社会人活用については、専門性を活かした指導の充実を図るとともに、教員へのサポートを進め、小学校外国語活動や中学校英語科の授業の充実に取り組んだ。英語検定受検推進事業は、児童及び生徒の英語学習の機会を増やし、英語検定を通じて英語力を伸ばす一助となった。</p>																																																																										
今後の課題方向性	<p>英語力向上プロジェクト事業については、新型コロナウイルス感染状況を見定めながら、玉川大学との連携を再開し、英語教育の充実と国際感覚豊かな子どもの育成を進めたい。英語検定受検推進事業は、中学校統合後、1学年の人数が増え4クラスになったこともあり、受検は希望制にした。その結果、主に1年生の受検者数が昨年度に比べて減少した。今後は、よりたくさんの児童・生徒が受検できるような環境を作り、今後も更なる英語教育の充実を図っていきたい。</p>																																																																										
教育委員会評価	S 確実な成果を出している		(A) 一定の成果を出している																																																																								
	B やや成果が低い		C 成果が低い																																																																								
評価に対するコメント	<p>英語教育の充実やグローバル人材育成の重要性はますます高くなっている。今後も具体的な取組をより一層充実させていきたい。</p>																																																																										

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	○夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします	
事 業 等	未来の下田創造プロジェクト	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【未来の下田創造プロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第19回 令和4年10月3日(月) 下田市立下田中学校 北棟2F 音楽室1 『35歳の地元住民を育てる「ワクワクする〇〇」を考える』 参加者：小中高教職員、地域、行政代表 32人 ・第20回 令和4年11月29日(火) 道の駅開国下田みなと会議室3 『ビジョンシート未来の下田創造プロジェクト会議Version作成』 身に付けたい資質・能力を育てる12のキーワード 参加者：小中高教職員、地域、行政代表 34人 				
検 証	<p>少子高齢化社会から人口減少社会へ移行し、予測困難な時代を迎えようとしている中、これからの学校は未来の地域づくりを担うことが求められ、その実現に向け、学校と地域が一体となって学校づくりをしていくことが指摘されている。未来の下田創造プロジェクトは、それらの課題に対し、「未来の地域を担う人材を育成する」という視点に立ち、小中高教職員、地域、行政代表が集い、協議検討するため、下田市立学校統合準備委員会の下部組織の部会の一つとして、平成30年7月に設置された。令和4年度までに18回の会議を重ね、「未来の地域を担う人材を育成する」ために整理した12のキーワードを用いて、立場の異なる者同士がディスカッションを通じて地域作りを担う人材を育成する新たなアイデアの創出を図った。令和3年度から委員に加わった下田高校教職員は令和4年度も継続して参加し、効果的な小中高連携と協働の手法を模索した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>下田市グローバルCITYプロジェクトの取り組みの一つとして進めるとともに、未来の下田を担う人材を育成するための魅力的な教育環境の整備や地域づくり、小中高の教職員の連携による教育プログラムの検討や教育環境改善に向けた検討を行いたい。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>これまでにない新たなプロジェクトであり、小中高、地域、行政との連携により、新たな動き、取組が生まれるよう期待したい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	○夢を思い描き、自分の生き方や下田の未来について考え、アクションを起こします	
事業等	青少年活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【二十歳の集い(旧成人式)】 開催日：令和5年1月8日(日) 会場：下田中学校 体育館 参加者：128人(男性69人、女性59人) 内容等：オープニング(下田太鼓伝統保存会) 国歌斉聴、開式、式辞、二十歳の宣言、祝辞、二十歳の誓い 恩師メッセージ(スペシャルムービー)、閉式 その他：抗原検査キット事前配付によるコロナ対策実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・抗原検査キット購入費 660千円 ・記念写真撮影用横断幕作成「祝 二十歳」59千円 		
検証	<p>二十歳を迎えた参加者が、総合司会を行ったほか、「二十歳の宣言」や「二十歳の誓い」を述べる等、積極的に式に参加した。</p> <p>「二十歳の誓い」では、稲梓中学校及び下田東中学校出身の参加者が二十歳を迎えての決意と抱負についてスピーチを行った。</p> <p>出席できなかった参加予定者や家族のために、式典の様子を YouTube でも配信(限定配信)した。</p> <p>令和4年度は市民文化会館の大ホール改修工事のため、下田中学校での開催となったが、昨年同様、来賓及び保護者等の参列者の人数制限に加え、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、式典は滞りなく進行することができた。</p>		
今後の課題 方向性	<p>令和5年度も市民文化会館大ホールの改修工事を予定しているため、二十歳の集いは下田中学校体育館で実施する。また、アフターコロナを見据えた式の準備を進める。</p>		
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>	
評価に対する コメント	<p>「二十歳の集い」として、対象者の意向も把握しながら式の内容を検討したい。20歳を迎える成年が改めて大人としての責任を自覚できるよう、地域全体で門出をお祝いする式を実施していく。</p>		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

施 策 系	取組2 未来について思考する取組		
	◇自分の将来や地域の未来について思考する素地を養います	○下田内外の職場や働く人の生き方から学びます	
事業等	地域人材活用・総合的な学習の時間	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p style="text-align: center;">【総合的な学習の時間等における地域の人材活用】</p> <p><実施例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A職員及び地域の農家と連携した稲作体験（稲梓小・白浜小・大賀茂小） ・ 地域の魅力を知り、伝える学習※温泉、史跡等（稻生沢小） ・ 市内各事業所における職場体験学習（下田中） ・ 絵本作家、お寺の住職等による地域貢献に取り組む生き方学習（稲梓小） ・ 地域の干物業者と連携した、干物作り体験学習（浜崎小） ・ 賀茂危機管理局と連携した防災学習（朝日小、下田小等） 				
検 証	<p>地域の特色や人材を生かし、各校、地域に開かれた教育活動を展開した。自分の住んでいる地域の未来を考えるにあたって、まずは地域の良さを知ることが大切である。地域の方々と積極的に交流をもつことで、自分の住んでいる地域の魅力を知ったり、自分や地域の未来を考える学習につなげることができた。また、この学習を通して、「地域貢献」という考え方にふれることができたことも、子ども達にとって貴重な経験となった。</p> <p>職場体験学習を通して興味のある職業について経験をしたり、地域で働く人々を訪問し、話を聞いたり仕事の様子を見たりすることを通して、自分の将来について考える良いきっかけとなり、キャリア教育の充実を図ることができた。</p>				
今後の課題 方 向 性	<p>地域人材の発掘や学校と人材を結び付ける方法が課題となる。本年度学校運営協議会設置要綱を制定し、令和5年度よりコミュニティスクールを下田中学校で開始する予定となっている。中学校での状況をみて、今後小学校にもすそ野を広げていく。</p>				
教育委員会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none; text-align: center;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none; text-align: center;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コ メ ン ト	<p>地域の特色や地域人材との交流の中で学ぶことは、義務教育段階において、最も重要なものの一つであり、今後もこれら取組を大切にしたい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	公立保育所・認定こども園・幼稚園・民間保育所事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【公立保育所・認定こども園・幼稚園の管理運営事業】							
	(入所児童数 4/1)	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	下田保育所	4人	10人	9人	15人	14人	18人	70人
	認定こども園	4人	10人	16人	32人	36人	32人	130人
	下田幼稚園	—	—	—	1人	2人	8人	11人
	計	8人	20人	25人	48人	52人	58人	211人
	利用者負担金 9,716千円（収入未済額150千円、不納欠損額83千円）							
	【民間保育所事業】							
	多様な保育推進事業補助金							13,009千円（特財4,706千円）
	待機児童解消特別対策事業費補助金							0千円（特財0千円）
	民間保育所給食費補助金							3,235千円
	民間保育所建設費償還事業補助金							2,100千円
	保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金							3,290千円（特財3,290千円）
	保育環境向上等事業補助金							2,058千円（特財2,058千円）
	民間保育所給食費補助金 （生活支援・物価高騰等分）							2,632千円（特財1,700千円）
	保育所運営費							189,087千円（特財140,926千円）
	利用者負担金7,370千円（収入未済額1,471千円、不納欠損額55千円）							
検 証	<p>公立保育所1園と民間保育所1園、公立認定こども園1園と民間認定こども園1園、公立幼稚園1園の5施設で幼児教育と保育を実施した。</p> <p>公立保育所については、施設や設備の老朽化が進行する中で、入所児童の保育環境を維持するために施設等の管理に努めた。また、民間保育所については、運営費の支出をするとともに各種補助金の交付を行い、適正な運営体制の確保に努めた。また、下田幼稚園は令和5年3月31日をもって廃園、下田認定こども園と統合した。</p>							
今後の課題 方 向 性	<p>施設や設備が老朽化する中、安全安心な幼児教育・保育環境を確保するため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組んでいく。また、津波浸水域内にある施設については更なる安全対策を検討、推進していくとともに、今後の施設のあり方についても検討していく。</p> <p>民間保育施設に対しては、適切な運営体制の確保に向けた支援、指導を継続して行っていく。</p>							
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している						A 一定の成果を出している	
	B やや成果が低い						C 成果が低い	
評価に対する コ メ ン ト	保護者や地域の方々と連携し、適切な運営をすることができた。今後も引き続き、幼児教育と保育の充実に努めていきたい。							

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を発揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	放課後児童対策事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【放課後児童クラブ入室延べ児童数】 (単位：人)											
	区分	1年生		2年生		3年生		4年生以上		合計		
		通年	長期休み	通年	長期休み	通年	長期休み	通年	長期休み	通年	月平均	長期休み
	下田小学校	140	7	206	11	178	10	152	19	676	56.3	47
	稲生沢小学校	145	6	101	2	140	6	22	2	408	34.0	16
	朝日公民館	107	1	122	1	57	4	58	0	344	28.7	6
	浜崎小学校	106	1	36	1	58	4	12	3	212	17.7	9
	稲梓小学校	36	0	32	0	48	6	12	5	128	10.7	11
	白浜小学校	45	0	0	3	12	8	12	0	69	5.8	11
合計	579	15	497	18	493	38	268	29	1,837	153.1	100	
検 証	開設日：月曜日から土曜日（浜崎小・稲梓小・白浜小は月曜日から金曜日）											
	開設時間：（平日）授業終了後から午後5時30分まで											
	開設時間：（土曜日、長期休校日）午前8時30分から午後5時30分まで											
今後の課題 方向性	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童に対し適切な遊び生活の場を提供し、その健全な育成を図るため、「放課後児童クラブ」を開設している。令和4年度からは、従来の下田小学校、稲生沢小学校、朝日地区放課後児童クラブ、浜崎小学校放課後児童クラブ、稲梓小学校放課後児童クラブに加え、白浜小学校放課後児童クラブを白浜小学校内に開設した。											
	通年の登録児童数は、下田・稲生沢・朝日・浜崎・稲梓・白浜クラブで月平均約153人、春・夏・冬季の長期休み期間には、通年登録の児童のほか延べ100人の登録があった。											
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している					A 一定の成果を出している						
評価に対する コメント	B やや成果が低い					C 成果が低い						
評価に対する コメント	引き続き放課後児童クラブを適切に運営し、子どもたちの居場所づくりに努めていきたい。											

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	地域子育て支援センター運営事業、ファミリーサポートセンター事業、子ども・子育て支援事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【地域子育て支援センター運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員1人・会計年度任用職員2人体制、日数217日、利用人員3,055人 ・交流の場の提供（開放）、子育て相談32件、支援センター通信の発行、講習等の実施9回、参加者141人（保健師講話、歯のお話、食育講座他）、親子体験事業42回、参加者1,280人（体育館で遊ぼう、親子体操教室他）、定例事業103回、参加者991人（誕生会、発育測定等）。 <p>【ファミリーサポートセンター事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まかせて会員登録25人、お願い会員登録45人、利用実績93件、8人 <p>【病児保育事業、実費徴収に伴う補足給付事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人員170人、病児保育事業補助金7,896千円（特財5,994千円） ・実費徴収に伴う補足給付（教材費・行事費等の実費徴収額の一部助成8千円） 				
検 証	<p>子育て支援センターでは、親子の交流の場の提供、各種講座の開催、子育て相談等を実施し、在宅で子育てする保護者の孤立化、育児不安の解消を図り、地域の子育て支援の核として事業を推進した。</p> <p>保護者の就労と育児の両立を支援するため、ファミリーサポートセンターの運営を行った。令和4年度の実績としておねがい会員5人、まかせて会員3人、両方会員1人の新規登録があり、8人の会員から延べ93件の利用があった。</p> <p>その他、病気のために集団保育が困難な児童を一時的に預かる病児保育に対して補助金を交付し、施策の充実を図った。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	子ども・子育て支援事業計画に基づき、安心して子育てをできるよう各種事業の整備、充実を図る。				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; text-align: center;">(A) 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td style="text-align: center;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	(A) 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	(A) 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部の活動が制限を受けた。今後は、多様化する子育て世帯のニーズを見極め、子育て支援の更なる充実を図っていきたい。				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事業等	子ども子育て会議	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>子ども子育て会議は、子ども・子育て支援法に基づき設置され、子ども・子育て支援事業計画に関するものの他、子育て支援施策の検討、実施状況について審議するものであり、令和4年度においては1回開催した。</p>		
	開催日	審議内容	
	1月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期下田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況 ・下田幼稚園の今後について ・令和5年度に予定する事業について 	
検証	<p>1月16日に第2期下田市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況、下田幼稚園の今後の活用、令和5年度に予定する事業についての審議を行った。</p> <p>今後の事業について、実績増につながったファミリーサポートセンター事業の取組を今後も継続していくこと、放課後児童クラブの受入れ体制確保、旧下田幼稚園を統合するまでに行ったきめ細かい対応の継続等の要望があった。</p>		
今後の課題 方向性	<p>引き続き進行する少子化と子育てニーズの変化に対応して、幅広く審議を行い、市の子育て支援事業に反映する。第3期子ども・子育て支援事業計画の策定により、長期的な市の課題、施策を検討していく。</p>		
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>	
評価に対する コメント	<p>幼児教育・保育施設の今後のあり方について審議し、下田幼稚園の統合に当たって、重要な役割を果たした。今後も幅広く子育て支援施策の検討、検証を行っていくことが期待される。</p>		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	児童生徒適応指導事業・特別支援教育体制推進事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【支援員等の効果的な配置：会計年度任用職員報酬 24,956千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育支援員 24人 <p>【市巡回相談等の実施：謝礼 491千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育相談員（臨床心理士）による巡回相談（年 17回実施） ・市就学支援委員会専門部会による幼保こども園の訪問 <p>【幼児ことばの教室及び適応指導教室の運営：会計年度任用職員報酬 2,865千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児ことばの教室指導員 1人、適応指導教室指導員 3人 <p>【特別支援教育就学奨励費：393千円】</p>				
検 証	<p>特別支援教育の充実を図ることで、発達に課題をもつ児童生徒への対応や学校生活の質の向上、学習活動の充実等、子ども一人ひとりの思いや保護者の願いに寄り添った教育活動に取り組んだ。各校発達障害のある児童生徒が増加傾向にあり、対応に苦慮している実情から個に応じた効果的な支援を進める上では、特別支援教育支援員の充実が必須である。また、特別支援教育相談員（臨床心理士）を中心とした巡回相談を年17回実施し、発達に課題をもつ幼児・児童・生徒への支援に取り組むと共に、発達検査等を実施することで、学齢児及び新学齢児保護者への就学相談を充実させることができた。</p> <p>幼児ことばの教室では、幼保こども園や市民保健課健康づくり係、福祉事務所等と連携しながら該当保護者に助言し、就学前に適切な支援がなされるよう努めた。適応指導教室では、指導員3人を配置し、学校生活に適応できず不登校傾向にある児童生徒に対して、適応状況の改善に取り組んだ。</p> <p>なお、通級教室（小中学校であわせて3学級）、特別支援学級（小中学校合わせて4学級）が開設されており、市の特別支援教育体制が整備されている。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	各校の実態に応じた支援員の配置を進め、きめ細かな支援に取り組むとともに、早期からの特別支援教育体制を確立する。				
教 育 委 員 会 評 価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	特別支援教育は、今後もさらに需要が高まり、対応が必要になることから支援員等の適切な配置や効果的な支援の実現や特別支援の確立を進めたい。				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	児童・生徒援護事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【要保護児童及び準要保護児童への支援：準要保護児童就学援助費 791千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童2人、準要保護児童21人 <p>【要保護生徒及び準要保護生徒への支援：準要保護生徒就学援助費 607千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護生徒3人、準要保護生徒8人 <p>【特別支援教育への支援：特別支援教育就学奨励費 393千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童8人、生徒8人 		
検 証	<p>要保護及び準要保護児童生徒援助に関して、生活保護を必要とする世帯、または生活保護に準じた保護が必要な世帯の児童・生徒に対し、義務教育を円滑に実施することができるよう、学用品や修学旅行費など一定の援助を行い、保護者の経済的な負担の軽減を図った。新型コロナウイルス感染症の影響で仕事が減少した家庭や、離婚等で収入が減少した家庭からの新規申請があり、年度途中新規認定者は4名となった。また、再婚し経済状況が安定したことから就学援助の取消の申請があり、年度途中の準要保護認定取消者は3名となった。要保護についても再婚の理由から要保護基準を外れたため2名の認定取消を行った。令和4年度末の認定者数は、前年度に対して、3名減となった。</p> <p>また、小学校別の認定者については、前年度は稲生沢小、下田小、白浜小の3校のみだったが、令和4年度は大賀茂小と朝日小からの新規申請があり認定されたことにより計5小学校で就学援助費の支給が行われた。経済的に困窮している家庭には、学校から保護者に制度の案内を行い、就学援助制度の周知に努めた。</p> <p>特別支援教育就学奨励費に関して、小中学校の特別支援学級への就学の特殊事情を考慮し、就学する児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減するため、その負担能力の種類、程度に応じ就学に必要な経費について、一部を補助した。</p>		
今後の課題 方 向 性	学校、民生委員、福祉事務所と連携を取り合い、就学援助制度の周知、情報共有を徹底する。		
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	A 一定の成果を出している C 成果が低い	
評価に対する コ メ ン ト	経済的理由により、教育を受ける環境等に差が生まれることがないよう支援の更なる充実を図りたい。		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	不登校等対策連絡協議会・いじめ防止への対応・生徒指導研修会・人権教育	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【不登校児等対策連絡協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内児童生徒の不登校やいじめの状況についての情報共有及び協議 <p>【生徒指導研修会の開催 年4回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の生徒指導担当者による情報交換 ・子ども一人ひとりを理解し、成長を支える生徒指導の推進 ・いじめ・不登校対策連絡協議会を兼ねた情報交換
検 証	<p>10月11日に生徒指導研修会を兼ね、不登校児等対策連絡協議会を開催した。民生委員・児童委員とともに、市内の小中学生の不登校やいじめの状況について情報共有を行い、様々な立場から市内の児童生徒一人ひとりの人権を守るよう取り組んだ。</p> <p>11月28日に下田市いじめ問題対策連絡協議会及び下田市いじめ問題対策専門委員会合同会議を開催した。令和4年度は、中学校のいじめ認知件数34件(昨年度50件)、小学校126件(昨年度128件)となっている。児童生徒の入れ替わりがあるため昨年度との相対的な比較はできないが、いじめ防止対策法の趣旨に基づき、各校では、いじめの積極的認知を行った結果が反映されていると認識している。引き続き、早期発見の積み重ねが未然防止につながるという観点から、軽微なものでも認知し学校から報告を挙げる体制を継続したい。なお、令和4年度も、いじめの重大事態及び解決の見通しが立たない深刻な事案はなかったため、専門委員会は連絡協議会と共催した1回のみ開催し、各小中学校の現状を把握するとともに、いじめ問題の未然防止と早期対応について協議した。</p> <p>生徒指導研修会では、問題行動や不登校、いじめ、気になる児童生徒について情報交換するとともに、「いじめの積極的認知」と「早期組織的対応」の重要性について生徒指導担当との共通理解を図ると共に、SSWや児童相談所など関係機関にも参加してもらい、連携の強化に努めた。また、不登校児等対策連絡協議会を通して、子どもの実態を的確にとらえ、日々の授業づくりに反映した。いじめ問題については、いじめ問題対策連絡協議会の開催や毎月提出する月例報告に市独自様式を取り入れるなど、認知したいじめの詳細について、学校と市教委との情報共有に努めた。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

今後の課題 方向性	教育活動全体を通じて児童生徒の人権感覚を育てるよう意図的に教育活動に取り組むとともに、教職員の人権感覚の向上に努める。また、ヤングケアラー等今日的な課題に対しても、積極的に対応の方法について検討していきたい。				
教育委員会 評価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評価に対する コメント	やがて社会に出て、一人の社会人として生きていく子どもたちに、人権感覚を育ててほしい。そのためにも、教職員が人権感覚を身に付け、日々の教育活動において子どもたちと関わることを期待している。				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	学校公開・学校評価	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【学校公開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより等による自校の教育活動についての発信 ・積極的な学校行事の公開や一日参観等の実施 <p>【学校評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童や保護者を対象とした学校生活アンケートの実施 ・学校生活アンケートの結果をもとにPDCAサイクルを機能させた教育活動の改善 ・学校自己評価及び学校評議員等による学校関係者評価の実施
検 証	<p>新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら学校行事や参観会等、学校を保護者や地域に公開することができるようになってきた。また、各校の創意工夫により、学校だより等で子どもの様子や学校の現状、教育活動のねらい等を発信し、地域との連携に努めた。学校の教育活動に協力したいという地域の思いは各校で見られ、それぞれの学校で地域の教育力を生かした活動につながった。</p> <p>学校評価では、各学校で年2～3回児童・保護者を対象とした学校生活アンケートを実施し、その結果を各家庭や地域に還すとともに、全職員で確認し、具体的な解決策を探った。また、アンケートの実施に際しては、ICTを活用するなどの工夫をする学校も見られ、保護者負担の軽減や回答率の向上を図った。こうしたPDCAサイクルを機能させることで、学校教育目標の具現に向けて、取組の改善を図った。また、学校評議員や地域の有識者による学校関係者評価を実施し、教育活動の改善に取り組んだ。</p>
今 後 の 課 題 方 向 性	保護者や地域の学校への関心が高いため、できる限り地域・家庭との連携・協働により「社会に開かれた教育活動」を実現する体制づくりを進める。
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している (A) 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	保護者も地域も自分たちの学校のために協力したいと考えている。教育活動の更なる充実を進めるためにも、社会に開かれた学校づくりを推進したい。

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○自分の居場所であると感じられる学校・地域を目指します	
事 業 等	青少年健全育成事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【青少年健全育成の推進】 各小学校等における見守り活動、挨拶運動、街頭キャンペーンなどの実施 県主催のネット依存対策ワークショップ等への協力 キャンプ禁止区間に伴うパトロールの実施</p> <p>【青少年健全育成会】 青少年健全育成連絡協議会及び青少年補導センターとの合同研修会の開催 ・青少年健全育成啓発用品 25千円、青少年健全育成看板作成 14千円</p> <p>【青少年補導センター】 補導活動等の実施や青少年健全育成会との連携事業の実施 公用車による青色防犯パトロールを推進するための実施者講習会の開催 受講者 計13名（更新：4名、新規：9名） ・青少年補導員報酬 197千円</p>
検 証	<p>青少年補導センターでは、各地域から選出された補導員を委嘱し、地域での声掛け運動を始め、登下校時間などの青色防犯パトロール及び夜間の補導活動や、キャンプ禁止期間における海岸パトロール及び夜間指導などを実施した。</p> <p>また、非行防止キャンペーン等の広報啓発活動や店舗への立入調査等の環境浄化活動を実施し、地域ぐるみの青少年健全育成意識の向上を図った。</p> <p>青少年健全育成会と青少年補導センターによる合同研修会の実施により、地域学校協働活動の仕組みを学び、青少年の健全育成に伴う地域と大人の関わり方について意識向上が図られた。</p>
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>市内の中学校統廃合に伴う環境の変化もある中で、今まで以上に家庭、地域、学校が連携をしていく取り組みを推進する。</p> <p>そのために、コミュニティスクールに伴う地域学校協働活動推進員を委嘱し、地域と学校の連携を図る。</p> <p>青少年の非行防止や青少年を犯罪被害から守るための対策検討を進める。</p>
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>青少年の健全育成にもつなげるため、地域学校協働活動を推進し、青少年の非行防止や青少年を犯罪被害から守るための活動へ広げていきたい。</p> <p>また、SNS関連の犯罪や非行防止に向けた新たな対策についても取り組んでいきたい。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	
事業等	通学路安全対策事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【子どもの移動経路安全推進会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和4年10月27日 書面開催 新中学校開校に係る安全点検・街頭指導結果について ・通学路安全点検・街頭指導 第1回 令和4年4月13日～15日、18日～20日（計6日間） 本郷交差点付近、敷根1号線、吉佐美大賀茂線ほか 第2回 令和4年12月 小学校から徒歩20分圏内の主要な通学路 ・対策実施箇所 市道須崎線（爪木崎入り口～須崎漁港）：舗装修繕、区画線（外側線）の引き直し 市道蓮台寺停車場線（ハンディ付近）：障害物（ブロック）の撤去 				
検 証	<p>下田中学校の開校にあたり、年度当初に下田警察署、下田土木事務所、小中学校（PTA含む）、防災安全課、建設課、学校教育課で連携し、通学路の安全点検や街頭指導を行った。安全点検・街頭指導結果に基づき、自転車通学推奨ルートや交通マナー等の課題を抽出し、中学校と共有した。また、通学路安全点検パトロールを実施し、舗装修繕、区画線（外側線）の引き直しや障害物の撤去を実施した。</p>				
今後の課題 方向性	<p>通学路安全対策事業については、対策実施箇所の検証や新たな危険箇所への対策等、より良い通学環境となるよう関係各所と継続して、対策検討を進める。</p>				
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	<table border="1"> <tr> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>		A 一定の成果を出している	C 成果が低い
A 一定の成果を出している					
C 成果が低い					
評価に対する コ メ ン ト	<p>引き続き関係機関との連携のもと、小中学校区の通学路安全対策を推進したい。細かな危険箇所まで点検して、更なる通学路の安全を目指したい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○命を大切にし、安全かつ安心して生活できる環境づくりを目指します	
事業等	児童・生徒通学費補助事業・中学生自転車安全対策	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【児童・生徒通学費補助事業】</p> <p>○児童通学費補助金：1,479千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲梓小23人、白浜小12人、朝日小13人 計48人 <p>路線バス及び市コミュニティバス平日通学定期券の支給</p> <p>○生徒通学費補助金：26,111千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期券補助 対象者225人 <p>路線バス平日通学定期券＋土日用ウィークデー補助券の支給</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学費補助 対象者89人 <p>年額14千円＋雨天時路線バス利用回数券の補助</p> <p>【自転車損害賠償保険加入補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下田中32件 <p>自転車通学者の損害賠償保険加入に係る保険料の1/2補助(1千円上限)</p> <p>【中学生自転車安全対策】</p> <p>新らしく中学校へ自転車で通学する生徒に対し配布するための自発光式反射板を準備した。</p>
検証	<p>令和4年度より新たな通学補助基準となる下田市立小中学校通学費補助金交付要綱及び下田市立小中学校通学費補助金交付要領を制定し事業を実施した。併せて、静岡県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例により、令和元年10月から自転車利用者の保険加入が義務化されたため、当該保険への加入促進を目的として保険加入に係る保険料に対しての補助を行い、保護者の負担軽減を図った。</p>
今後の課題 方向性	<p>令和4年度から新たに通学補助基準を制定し補助事業を行っている、補助金交付事務を適正に執行するとともに、問題点についても柔軟に対応し、学校並びに児童生徒に不都合の無いよう改善できる点については、適宜見直しを行いたい。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>通学補助は子どもたちの通学の安全性の確保や保護者の負担軽減に繋がることから、より良いものとなるよう尽力していきたい。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組3 居場所づくりに向けた取組		
	◇安心して自分の資質・能力を發揮し伸ばすことができる環境づくりに取り組みます	○防災教育を通して、命を守るために自ら考え、人のためにも行動できる人を目指します	
事 業 等	地域と連携した防災・防犯教育	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p style="text-align: center;">【地域と連携した防災・防犯教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域が連携した防災・防犯教育の実施 ・災害に応じた防災訓練等の見直しと効果的な実施 ・土砂災害や津波を想定した各校の避難経路の確認 				
検 証	<p>各校の災害リスクを踏まえて、地域の防災担当者や防災安全課及び賀茂振興局危機管理課と連携した取組を進める等、地域の実情に応じた防災教育の充実に努めた。また、土砂災害、津波や東南海トラフ地震を想定し、避難確保計画の策定や学校防災マニュアル等の適時見直しに各校取り組んだ。災害に応じた避難経路の検討や避難訓練のあり方を考えるなど、安全かつ安心できる学校づくりを目指した。また令和4年度には朝日小学校において県くらし交通安全課主催の体験型防犯講座「あぶトレ!」を実施、児童の防犯意識の高揚を図った。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>土砂災害や津波及び東南海トラフ地震等、あらゆる災害にも対応した安全かつ安心できる学校づくりを推進するとともに、地域の協力が不可欠なソフト的施策の強化及び通学路の登下校時における防犯機能の強化を図る。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; text-align: center;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>台風に伴う災害、東南海トラフ地震等の大災害時の対応に加えて、身近な災害リスクへの対応も必要とされている。児童生徒の安全を守る防災教育の充実、安全な学校施設の整備、緊急時の体制づくり等、防犯機能の強化、安全かつ安心できる学校づくりに努めたい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	
事業等	市指定研究校への支援・研修主任研修の開催・校内研修への支援	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【市指定研究校への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年11月2日(水) 下田市教育研究会指定研究発表(稲梓小) <p>【市研修主任研修会の開催 年3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度の市の重点と各校の校内研修について ・魅力ある授業づくりについての協議 ・「学びの可能性を広げるICT活用方法について」 <p>【校内研修への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事による各小中学校の訪問と校内研修についての指導・助言
検証	<p>下田市教育研究会指定研究発表では、稲梓小学校が2年間にわたる研究実践の成果を発表した。稲梓小学校は「自ら考え、進んで表現する子～『対話』で深まる授業を目指して」を研究主題として、教師と子どもとが目指す授業や学び方について共有すること等、授業づくりの基本を大切にできるように研修を進めた。</p> <p>市研修主任研修会では、子どもが主体的に学ぶ授業や学びの実感を積み重ねる授業を目指して、各校の研修主任が協議し、計画を策定した。子どもの問いや問題解決的な学習を大切にしたい授業づくり、子どもの事実をもとに全員参加で進める研修の推進など、各校の校内研修の充実が図られた。また、第2回には、GIGAスクール構想の推進を目指し、静岡教育事務所 元矢裕己教育主幹を講師として、「タブレット端末を活用した授業展開等」(iPadを用いて演習等)をテーマに講義・演習を行い、令和型の新しい授業の在り方についての研修を深めることができた。</p>
今後の課題 方向性	<p>子どもの主体的・対話的で深い学びの両立を目指した教育活動の実施方法についての研修を進める。また、ICTを活用した個別最適な学び及び、協働的な学びについて研修を深めていく。</p>
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>各校では、熱心に授業改善の取組が進められている。技術発展がめざましい中、ICTを有効活用した個別最適な授業作りをしていくことが求められる。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	
事業等	教育資金利子補給事業・奨学奨励費交付事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【教育資金利子補給金交付事業：279千円】 対象者19人に対し、利子補給金を交付した。</p> <p>【就学奨励金交付事業：700千円】 対象者7人に対し、就学奨励金を交付した。</p>
検 証	<p>教育資金利子補給金交付事業については、教育の機会均等と経済的負担の軽減を図り、教育の振興に寄与するため、教育資金の融資を受けた者に対する利子補給金を交付し、保護者の負担軽減を図った。令和4年度は新規申請が3件あり、3件全て認定した。</p> <p>就学奨励金交付事業については、経済的理由により高等学校等に就学することが困難な者に対し、その経済的負担の軽減を図り、有為な人材の育成及び教育の振興に資することを目的として交付した。下田市奨学生選考委員会にて、対象者7人に対し、一人当たり10万円の就学奨励金の交付を決定した。</p>
今後の課題 方 向 性	経済的理由により就学が困難な生徒に対し、必要な事業である。今後も学校と連携を取りながら、制度の周知、情報を共有していく。
教育委員会 評 価	S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している B やや成果が低い C 成果が低い
評価に対する コ メ ン ト	高校、大学への進学を支援する事業であるため、今後も継続して支援を行うとともに課題を整理し、更なる充実を図りたい。

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組4 資質・能力を育成する取組		
	◇自分や地域の未来を切り拓くことができる資質・能力を伸ばします	○実際の社会や生活で生きて働く知識や技能を身に付けます ○未知の状況にも対応できる、思考力、判断力、表現力などを身に付けます ○学んだことを人生や社会に生かそうとする力を身に付けます	
事業等	授業づくり支援・初任者研修会の開催	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【授業づくり支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導主事による授業参観及び子ども理解を主眼においた事後研修会 ・学級づくりや人間関係づくりを基盤とした授業についての指導・助言 <p>【市初任者研修会 年3回】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級づくりを基盤とした授業についての指導・助言 ・先輩授業の参観をきっかけとした、学級集団づくりについての協議 				
検証	<p>各校への授業づくり支援では、指導主事が訪問を行う際、「個別最適な学び」「協働的な学び」を念頭に助言し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりに取り組んだ。</p> <p>市初任者研修会では、日頃の授業づくりや生徒指導上の諸問題について悩みを語り合い、よりよい解決策を探るとともに、先輩の授業を参観する中で、生徒指導が機能する授業や互いに支え合う学習集団づくりについて学んだ。</p>				
今後の課題方向性	<p>確かな子ども理解のもと、互いに支え合う学級づくりを基盤として、対話を中心としながら、多様な見方・考え方を受け止め、尊重する授業づくりを進める。</p> <p>また、「令和の日本型教育」を念頭においた授業の在り方について、理解を深めていきたい。</p>				
教育委員会評価	<table border="0"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している</td> <td><input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> B やや成果が低い</td> <td><input type="checkbox"/> C 成果が低い</td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している	<input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している	<input type="checkbox"/> B やや成果が低い	<input type="checkbox"/> C 成果が低い
<input checked="" type="checkbox"/> S 確実な成果を出している	<input type="checkbox"/> A 一定の成果を出している				
<input type="checkbox"/> B やや成果が低い	<input type="checkbox"/> C 成果が低い				
評価に対するコメント	<p>様々な家庭環境や生育歴、発達障害等の背景を抱えた子どもたちが小中学校に通っている。そうした子どもたち一人ひとりを的確にとらえ、温かい雰囲気の中で安心して学ぶことができる授業づくりや学級づくりに努めたい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事 業 等	小・中学生対外派遣事業補助金 部活動指導員配置事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【小中学校対外派遣事業補助金：2,734千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中体連、中文連等の大会へ派遣される経費の一部を補助金として支出 <p>【部活動指導員配置事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計年度任用職員報酬 674千円 ・部活動支援業務委託 522千円 <p>下田中学校 サーフィン部に部活動指導員2名を配置。</p>				
検 証	<p>小中学校児童生徒対外派遣事業補助金について、運動部、文化部の各種大会における生徒の対外派遣事業に要する経費を交付した。新型コロナウイルス感染症に伴う対応により感染対策を万全に行いながらの大会参加となったが、生徒のめざましい活躍が見られ、本年度については補助額が大幅に増加し、充実した部活動を支える一助となった。</p> <p>部活動指導員配置事業等については、令和5年度以降、休日部活動の段階的な地域移行を図るとされている中、下田中学校に新たに設置されたサーフィン部に対し、部活動指導員2人を配置。(公財)下田市振興公社へ部活動支援業務を委託することで事業を実施した。専門的な指導の下、充実した部活動を行い、部活動顧問の多忙化解消にも寄与した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>対外派遣事業補助金については、保護者の経費負担減にも繋がることから今後も継続するとともに、部活動指導員配置や支援業務委託についても、休日部活動の地域移行を、国の新たな動向も見据えながら推進し、子どもたちや保護者にとって、より良いものとなるよう検討していきたい。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; text-align: center;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td style="text-align: center;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>休日部活動の地域移行化については、これまでの部活動の概念を大きく変えるものであり、国の新たな動向をしっかりと注視し、学校関係機関等との協議を進めるとともに、子どもたちや保護者等への周知なども行っていきたい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事業等	学校給食管理運営事業	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>学校給食センターは小中学校8校と県立伊豆の国特別支援学校伊豆下田分校1校へ給食を提供し、調理配送等業務は株式会社レクトンへの業務委託をしている。</p> <p>【債務負担行為(令和6年度まで)】</p> <table border="0"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>0千円</td> <td>令和4年度</td> <td>59,915千円</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>59,915千円</td> <td>令和6年度</td> <td>59,915千円</td> </tr> <tr> <td>総額</td> <td>179,745千円</td> <td>請負先</td> <td>株式会社レクトン</td> </tr> </table> <p>【給食費公会計化】</p> <p>学校給食管理システムにより、市において賦課・徴収業務を行っている。 学校等給食費：収入済額 26,223千円(幼稚園等給食費を除く) 収入未済額 1,985千円(76件)</p> <p>学校給食実施回数 年間180回 小学校864人分・中学校480人分(R4.5.1現在)</p> <p>【衛生管理・食育推進】</p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づく衛生管理の実施 食物アレルギーの児童生徒への対応 地域食材を活用した給食の提供</p> <p>【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した給食費無償化】</p> <p>第4期～第11期給食費：44,350千円の減免を実施 賄材料費：生活支援・物価高騰分54,558千円</p>	令和3年度	0千円	令和4年度	59,915千円	令和5年度	59,915千円	令和6年度	59,915千円	総額	179,745千円	請負先	株式会社レクトン
令和3年度	0千円	令和4年度	59,915千円										
令和5年度	59,915千円	令和6年度	59,915千円										
総額	179,745千円	請負先	株式会社レクトン										
検証	<p>調理配送等業務の民間委託に伴い、定期的な業務確認、意見交換、研修会など、徹底した安全管理により、安定した学校給食が提供できた。</p> <p>保護者等から学校給食費を口座振替又は申し出により児童手当から徴収した。</p> <p>学校給食危機管理対応マニュアルに基づき、学校給食センターの衛生管理に努めた。食物アレルギーの児童生徒を把握し、安全性を最優先にした対応を実施した。令和4年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小中学校の給食費を対象に、第4期～第11期を減免し、給食費の一部無償化を行い保護者の負担軽減を図った。</p>												
今後の課題 方向性	<p>食材費高騰の中、栄養価を維持した学校給食の提供のため、学校給食費改定の検討を行うとともに、公会計化による適正な賦課徴収事務の執行として、未収金の回収及び児童手当からの徴収を推進する。</p>												
教育委員会 評価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い								
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している												
B やや成果が低い	C 成果が低い												
評価に対する コメント	<p>給食センターの運営は、徹底した安全管理により良好に行われている。学校給食費の適正な賦課徴収事務の執行とともに、地元食材を活用した給食を通じた食育に尽力していきたい。</p>												

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事業等	保健体育総務事務、社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校体育施設の開放】</p> <p>市民の体育及びレクリエーションの振興を図るため、市内小学校及び中学校の施設（体育館、グラウンド）を開放し、各スポーツ団体に活動場所を提供した。</p> <p>学校施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設</th> <th>件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体育館</td> <td>1,430件</td> <td>18,048人</td> </tr> <tr> <td>グラウンド</td> <td>245件</td> <td>4,111人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【下田市体育協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県市町対抗駅伝競走大会下田市選手団の派遣 1,157千円 ・下田市スポーツ祭 238千円 ・下田市体育協会補助金(育成強化事業、普及事業他) 490千円 <p>【全国大会等出場費補助金】</p> <p>スポーツ及び文化活動を通じた青少年の健全な育成を図るため、小学生1名(東海・女子サッカー)、中学生1名(全国・女子バレー)に補助金を交付した。</p>			施設	件数	利用人数	体育館	1,430件	18,048人	グラウンド	245件	4,111人
施設	件数	利用人数										
体育館	1,430件	18,048人										
グラウンド	245件	4,111人										
検 証	<p>学校体育施設の利用は児童から高齢者まで幅広く、多くの利用者の体力の維持向上、技術の向上、健康づくりにつながった。</p> <p>下田市体育協会への委託・補助事業は、コロナ禍での活動支援となり、競技団体によっては、大会・事業の中止(陸上・グラウンドゴルフ・ビーチバレー)はあるものの、市民スポーツの振興が図られた。また、静岡県市町対抗駅伝競走大会では、市の部25位の結果であった。</p>											
今後の課題 方向性	<p>旧中学校の体育館については、旧稲生沢中学校は、新庁舎の一部としての活用され、旧下田東中学校については、令和9年6月頃まで警察署の仮庁舎の一部として活用される。旧稲穂中学校は、社会体育施設以外での利用等を検討中である。</p> <p>部活動の地域移行に伴い、部活動の在り方を検討しているため、体育協会の各所属競技団体や地域クラブチーム及びスポーツ団体の活動を把握し支援する。</p> <p>競技スポーツの振興、スポーツ関係団体の育成を図るため、施設の適正な維持管理に努める。</p>											
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している										
	(B) やや成果が低い	C 成果が低い										
評価に対する コメント	<p>下田中学校の運動部活動がより良い形で地域移行できるように尽力していきたい。今後も、多くの利用者が施設を安全安心に利用できるよう、適切な管理運営に努めていきたい。</p>											

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、 健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくり を目指します	
事 業 等	下田市民スポーツセンター管理運営事業・吉佐美運動 公園管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【下田市民スポーツセンター】 施設利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施 設</th> <th>件 数</th> <th>利用人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>体 育 館</td> <td>966件</td> <td>28,030人</td> </tr> <tr> <td>会 議 室 1</td> <td>208件</td> <td>5,075人</td> </tr> <tr> <td>会 議 室 2</td> <td>302件</td> <td>2,202人</td> </tr> <tr> <td>視 聴 覚 室</td> <td>545件</td> <td>12,440人</td> </tr> <tr> <td>創 作 実 習 室</td> <td>1364件</td> <td>4,768人</td> </tr> <tr> <td>陶 芸 窯</td> <td>36件</td> <td>441人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,421件</td> <td>52,956人</td> </tr> <tr> <td>利用料収入</td> <td colspan="2">4,719千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・下田市民スポーツセンター指定管理料 22,730千円 ・看板修繕 355千円、気化式冷風機他購入費 460千円</p> <p>【吉佐美運動公園】 利用件数 189件 利用人数 5,177人 ・吉佐美運動公園管理業務委託 990千円 ・光熱水費 177千円</p>			施 設	件 数	利用人員	体 育 館	966件	28,030人	会 議 室 1	208件	5,075人	会 議 室 2	302件	2,202人	視 聴 覚 室	545件	12,440人	創 作 実 習 室	1364件	4,768人	陶 芸 窯	36件	441人	合 計	3,421件	52,956人	利用料収入	4,719千円	
	施 設	件 数	利用人員																											
体 育 館	966件	28,030人																												
会 議 室 1	208件	5,075人																												
会 議 室 2	302件	2,202人																												
視 聴 覚 室	545件	12,440人																												
創 作 実 習 室	1364件	4,768人																												
陶 芸 窯	36件	441人																												
合 計	3,421件	52,956人																												
利用料収入	4,719千円																													
検 証	<p>市民スポーツセンターは、体育館を中心とした市民の健康増進施設として、多機能に利用されている。しかし体育館については、週末のみ新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用されている。</p> <p>吉佐美運動公園は、児童から高齢者まで広く使われる施設であり、市民の健康増進、競技技術の向上などにつながっている。</p>																													
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>下田市民スポーツセンターについては、令和5年度に外壁改修工事及び照明LED化工事を行い、利用者の安全と利便性の向上を目指す。</p> <p>吉佐美運動公園については、今後も適正な維持管理に努め、利用しやすい運動公園として整備していきたい。</p>																													
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>(B) やや成果が低い C 成果が低い</p>																													
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>今後も、多くの市民が施設を安全安心に利用できるよう、適切な管理運営と市民サービスの向上に努めていきたい。</p> <p>吉佐美運動公園の他、スポーツ施設のあり方について検討していきたい。</p>																													

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○健やかな心身を支える健康な体づくりを目指します	
事業等	社会体育活動推進事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【各種スポーツイベントの開催】	
	ボッチャ教室	参加者 22人
	新体力テスト	参加者 34人
	ボッチャ大会	参加者 53人
	ふれあい広場（軽スポーツ）	参加者 111人
	グラウンドゴルフ大会	参加者 96人
	第51回下田・河津間駅伝競走大会	参加チーム 32チーム
検証	<p>下田市スポーツ推進委員を中心に、市民が広くスポーツを楽しむ機会、健康づくりの場を創出している。</p> <p>令和4年度は、ボッチャ教室に加えてボッチャ大会を開催し、子どもからお年寄りまで幅広い参加があった。</p> <p>第51回下田・河津間駅伝競走大会は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、第47回大会(参加81チーム)以来4年ぶりの開催となり、32チームが参加した。</p> <p>民間主催のまどが浜海遊公園を会場にした「しもだマラソン」や、日本代表の北間選手による車椅子バスケットボール体験会及び、県主催のニュースポーツフェスタなどに協力した。</p>	
今後の課題 方向性	<p>多世代に渡り健常者・障害者が一緒に競い、楽しむことのできるスポーツとして、ボッチャの普及を今後も推進する。</p> <p>下田・河津間駅伝競走大会については、3年間の中止の影響もあり、参加チームが減少している。大会を継続していくため、参加資格やコース等を改善し、参加チームの増加を図る。</p>	
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>(A) 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>
評価に対する コメント	<p>既存事業の他にも幅広い世代の方が参加できる競技の普及を進めていきたい。</p> <p>参加チーム増加のため、下田・河津間駅伝競走大会の要項改善を図りたい。</p> <p>東京パラリンピックからのレガシーとして、ボッチャの普及を推進したい。</p>	

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します	
事業等	道徳教育の充実	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【道徳教育の充実】 ・子ども一人ひとりが主体的に「考え、議論する道徳」の授業づくりの推進 ・教育活動全体を通じた豊かな心を育む道徳指導の推進		
検証	道徳教育の充実を目指し、子どもが自己肯定感を高めたり、自主性や責任感などの人間性・社会性を育てたりできるよう推進していく。 学習指導要領の改訂により実施となった「特別の教科道徳」について推進するための、具体的な指導方法や評価に関する情報を提供するとともに、各校で研修に取り組んだ。 道徳教育は、教育活動全体で行われる必要があることから、各校で全体計画や別業を作成し、道徳教育の充実に取り組んだ。各校において、児童生徒の実態をもとに、日々の学校生活での場面を捉えた指導や従来の道徳授業の工夫等、子どもたちの道徳性の涵養を目指して取り組んだ。		
今後の課題 方向性	「特別な教科道徳」について理解を深めるとともに具体的な指導や評価方法について実践を積み重ね、引き続き「考え、議論する道徳」の授業づくりを進める。		
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している B やや成果が低い	A 一定の成果を出している C 成果が低い	
評価に対する コメント	子どもたちの道徳性を養うことは、変化が激しく価値観が多様化する現代社会を生きていく上で必要なことである。学習指導要領の改訂を受け、適正な指導が行われるよう具体的な取組を進めたい。		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します	
事業等	学校司書の配置・新刊図書の購入 学校図書館蔵書管理システム導入の拡大	担当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	<p>【学校司書の配置：会計年度任用職員報酬 3,271 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書 2 人 ・学校司書の市内全小中学校の巡回による読書環境の充実 ・学校司書及び図書館職員が連携した読書活動の充実 <p>【新刊図書の購入：図書購入費 12,391 千円】</p> <p>小学校 9,891 千円（通常分 1,491 千円 感染症対策分 8,400 千円） 中学校 2,500 千円（通常分 700 千円 感染症対策分 1,800 千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の読解力に応じた優良図書の購入 ・読書感想文推薦図書の購入 <p>【学校図書館管理システム：システム使用料 462 千円】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度下田中学校学校図書館に導入した学校図書館管理システムを小学校学校図書館にも拡大。電算化を進めている。 		
検証	<p>学校司書 2 人が、毎月小中学校を 3 日程度巡回訪問することで、各校の図書室などにおける読書環境の充実に取り組んだ。</p> <p>学校の要望を踏まえて、教員と学校司書及び図書館職員が連携し、児童の読書意欲向上に向けて掲示物の作成や読み聞かせを実施、また学校司書の専門性を活かし、児童の読解力に応じた優良図書の紹介、新刊図書購入時のアドバイス等、学校図書室の環境整備や各校における読書活動の充実に繋がった。</p> <p>さらに専門性を高めるため、市立図書館職員との交流や読書指導にかかわる意見交換会、図書館司書研修会などに参加して得られたことを各校に還元した。</p> <p>昨年度下田中学校学校図書館に導入した学校図書館管理システムを市内小学校にも導入し、バーコードによる図書管理等、電算化を進めた。</p> <p>本年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、家庭での読書機会の創出及び自宅での調べもの学習や勉強に対応するため図書を追加購入し、学校図書の充実を図った。</p>		
今後の課題 方向性	<p>中学校へ専属の学校司書配置し、学校司書を 3 人体制とすることを検討し、蔵書管理システムの有効活用、図書購入を継続し、市内小中学校の更なる読書環境を充実させる。</p>		
教育委員会 評価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>	

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

評価に対する コメント	豊かな感性を育むことにつながる読書の環境を充実させるためにも、学校、学校司書、市立図書館が連携していくことは効果的であることから、今後も学校司書による読書指導の充実を図っていききたい。
----------------	--

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施策体系	取組5 健やかな心身を育成する取組		
	◇生涯を通じて充実した人生を送るために、健やかな心身と豊かな感性を育みます	○道徳教育や読書活動の充実を図り豊かな心の育成を目指します	
事業等	図書館管理運営事業	担当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	図書館の貸出状況 ※開館日以外は延べ数			
	開館日数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
	275日	9,488人	50,005冊	11,315人
	蔵書冊数			
	購入図書	寄贈図書	廃棄図書	総数
	1,904冊	451冊	2,185冊	104,402冊
	・図書購入費 3,688千円			
	おはなし会等実績 ※この他にひよこサロン(社会福祉協議会)他での移動図書館が12回			
	月日	内容	協力団体	参加人数
	4月23日	下田わくわくパーク「これば！」遊具で遊ぼう&読み聞かせ会	福祉事務所	32人
6月8日	朝日小5年生読み聞かせ	朝日小学校	14人	
7月6日 ほか	図書館出張おはなし会 セカンドブックと移動図書館(3回)	子育て支援センター	77人	
11月20日	鮎の詩子どものおはなし会	鮎の詩	27人	
3月18日	鮎の詩大人のための朗読会		26人	
計	7回		176人	
検 証	<p>おはなし会については、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、図書館での実施は中止し、市役所関係課や社会福祉協議会と連携したイベント時等での開催とした。子育て支援センターでの出張おはなし会を3回、読み聞かせボランティアグループ『鮎の詩』のおはなし会を子供向け、大人向けに各1回、更に小学校での読み聞かせを実施した。また、社協主催の「ひよこサロン」において移動図書館を開催した。</p> <p>5か月児の母子を対象とした「ファーストブック」は新型コロナウイルス感染症対策を徹底した中で、偶数月に開催し、図書館バッグ1袋と絵本1冊を45セットプレゼントした。</p>			
今後の課題 方向性	<p>「おはなし会」等のイベントについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めつつ、図書館主催での実施を再開して行きたい。また、訪問でのサービスも拡大していくため、移動図書館車の再開を予定している。</p> <p>市民の読書活動の推進及び本を通じた多世代交流を図るため、まちじゅう図書館事業を準備する。</p>			
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している (B) やや成果が低い		A 一定の成果を出している C 成果が低い	
評価に対する コメント	各種イベントへの参加を増やし、図書館サービス提供の機会を増やしたい。また、子ども向けだけでなく、大人のための行事も企画し、利用者層の拡大を図る。			

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○人材育成に向けた学びの機会や質を保障する教育予算の拡充	
事業等	小・中学校管理事業	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p style="text-align: center;">【小学校管理事業・中学校管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校トイレ改修工事（稲生沢・下田小学校）4,312千円 ※トイレ洋式化率63.4%（156基/246基） ・朝日小学校給食配膳室屋上防水修繕 1,287千円 ・稲梓小学校遊具修繕（ブランコ） 1,265千円 ・稲梓小学校遊具修繕（肋木） 1,265千円 ・大賀茂小学校理図家室空調機修繕 819千円 ・その他小学校施設修繕件数95件 合計12,700千円 ・その他中学校施設修繕件数19件 合計 1,040千円 				
検 証	<p>静岡県市町村振興協会の助成を受け小学校トイレ6組の洋式化改修工事を実施した。また、下田中学校の洋式化率は100%となっている。</p> <p>老朽化により不具合の生じている遊具や学校施設に対して、修繕工事を実施することにより施設や機器等の更新した。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	環境整備を必要としている小学校施設について、計画的な整備を進め、安全安心で良好な学校環境を確保する。				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: 1px solid black; text-align: center;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td style="text-align: center;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	児童生徒の安全安心を確保するため、教育施設の環境整備を計画的に推進していきたい。				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○ICT、ネット環境に関する基盤整備	
事 業 等	G I G Aスクール構想の推進・小・中学校教育振興事業・賀茂地域校務事務共同化協議会	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【賀茂地域校務支援事務共同化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域校務支援事務共同化事業負担金 490千円 <p>【小学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教職員用パソコンリース(108台) 3,576千円 ・小学校教育用パソコンリース(182台) 9,214千円 <p>【中学校教育振興事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教職員用パソコンリース (62台) 1,292千円 <p>【G I G Aスクール構想の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校パソコンネットワーク保守業務委託 3,274千円 ・小学校G I G Aスクールサポーター配置促進業務 3,274千円 ・中学校パソコンネットワーク保守業務委託 3,972千円 ・中学校G I G Aスクールサポーター配置促進業務 1,872千円 				
検 証	<p>賀茂地域校務支援事務共同化協議会において、賀茂1市5町で導入した校務支援システムの各種様式調整を行い、利便性の向上を図った。</p> <p>令和2年度に整備した1人1台端末のさらなる活用や教育の情報化支援強化のため、G I G Aスクールサポーター配置を行った。また、パソコンネットワーク保守業務委託により、インターネットを使用した校務系PCや授業等の安定的な通信環境の提供に努めた。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>オンライン学習システムの導入や全国学力調査のオンライン化を見据え、負荷に耐えうるネットワーク環境の整備を適宜検討していく。電子黒板や1人1台端末等のICT機器についても、耐用年数と生徒児童数減少を考慮しながら、適切な更新計画を策定していく。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table border="0"> <tr> <td>S 確実な成果を出している</td> <td>A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td>B やや成果が低い</td> <td>C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>ICT教育環境整備の段階からさらなる利活用や応用に発展していく過程において、取り残される子どもや教職員が生じないようサポート体制を充実させて臨みたい。</p>				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティーネットの構築	
事 業 等	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置・関係機関との連携	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【「チーム学校」の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ S C及びS S W（県任用）の活用 * S C：スクールカウンセラー、S S W：スクールソーシャルワーカー <p>【関係機関との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 賀茂児童相談所、福祉事務所、市民保健課等との連携 ・ 要保護児童対策協議会及び母子連絡会での情報共有 ・ 下田警察署との連携 		
検 証	<p>児童生徒の問題行動や地域の不審者情報などについては、警察が関わる案件こそ多くはないが、下田警察署と情報共有しながら対応することができた。</p> <p>県費による配置だが、現在市内全校にS C及びS S Wが配置（中学校区等）されている。教育委員会としてS S Wと定期的な連絡会やS C・S S Wと交えたケース会議の開催など、学校のチーム力向上を図った。特に下田中学校は、統合初年度であったため組織作りと仕組みの構築に力を入れた。</p> <p>近年、学校だけでは解決できない家庭的な背景を起因とする不登校や生徒指導案件等が増加しており、関係機関との連携体制の強化は必須となっている。主に、賀茂児童相談所や福祉事務所と連携し、積極的なケース会議の開催、各小中学校の入学説明会等、保護者が多数集まる際にS S Wから説明するなど、虐待等から子どもを守るための情報を共有し、未然に児童生徒の生命や安全を守るよう努めた。子どもの貧困や発達に課題をもつ児童生徒による問題行動や不登校、学校生活への不適応が問題になっていることから、市民保健課及び福祉事務所と情報共有に努め、早期からの適切な就学支援を進めることで、一人ひとりの子どもの成長を支えてきた。要保護児童対策協議会では、教育委員会担当者や学校・園の代表が情報交換をし、子どもや家庭の実態把握と効果的な対応に取り組んだ。</p>		
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>学校だけでは解決が難しい事案が増えていることから、外部機関と連携しながら対応を進めるとともに、S CやS S W等を活用して「チーム学校」として子どもを守る体制を強化する。また、ヤングケアラー等今日的な課題についても対応を進めていきたい。</p>		
教 育 委 員 会 評 価	<p>S 確実な成果を出している</p> <p>B やや成果が低い</p>	<p>A 一定の成果を出している</p> <p>C 成果が低い</p>	
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>学校教育を取り巻く諸問題を解決していくには、各関係機関との連携は必要不可欠である。開かれた学校づくりを進め、チームとして教育活動に取り組む体制づくりを推進していきたい。</p>		

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○子どもの安心安全の確保と、多様なニーズに対応するセーフティネットの構築	
事 業 等	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	担 当	学校教育課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な感染症対策の徹底 ・ 感染状況把握の体制整備と学校・園との連携 ・ 感染症対策資料（感染症対策フロー、学級閉鎖の状況、臨時休業の対応）配付 ・ 抗原定性検査キットの配付 ・ 教職員ワクチン接種の促進 ・ 下田モデルカード（小中学校版）の推進 ・ 消耗品費(感染症対策分)4,173千円(小学校1,634千円・中学校166千円・保育所及びこども園952千円、放課後児童クラブ1,126千円、子育て支援センター295千円)
検 証	<p>【感染症対策の徹底と学びを止めない対応】</p> <p>教育委員会より学校・園へ感染対策の情報等を速やかに連絡・指示するとともに、各学校では地域の感染状況を踏まえ、密の回避、マスクの着用、手指消毒、校内の消毒、登校時の検温・健康観察等、感染症対策を徹底した。日々の授業等については、できるだけ「学びを止めない」ことを念頭に置き、学校規模に応じて各教科の指導時期や指導方法を工夫するなど、各校の実態に応じた感染症対策に努めた。各学校等が対策を講じたことにより、校内・園内での感染拡大を極力抑えることができた（令和4年度：臨時休業…中1校、学年閉鎖…小1学年、中1学年、学級閉鎖…小15学級、中2学級、幼保2学級）。</p> <p>【感染症対策の見直し・配付】</p> <p>市内小中学校で感染者等が出た場合の対応を、変異株の特性や国・県からの通知・ガイドライン等を参考に見直しをし、学校・保護者と共有した。修学旅行等各種行事や部活動、授業など、どのような基準で実施の判断をするか、またどのような時に学級閉鎖等の措置を講ずるのか共有されていたため、速やかに判断ができた。</p> <p>【確実な感染状況把握と学校及び関係機関等との連携】</p> <p>新規感染者及び濃厚接触者について連絡体制を学校と共有し、速やかに感染状況を把握するとともに、連絡を密に取り合いながら感染拡大の防止に努めた。なお、学級閉鎖等の措置をとった際の保護者メールや報道依頼文のひな形をあらかじめ学校に送付しておき、速やかに対応できるようにした（個人・学校等が特定されないよう配慮し、情報提供は学級閉鎖等の措置を講じたときのみとした）。</p> <p>【抗原定性検査キットの配付】</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

	<p>国・県・市からの抗原定性検査キットを各学校等に配付し、必要に応じて職員が対応できるよう準備を進めた。</p> <p>【教職員ワクチン接種の促進】</p> <p>市民保健課と連携し、希望する教職員が速やかにワクチンを接種できるよう取組を進めた。</p> <p>【下田モデルカード（小中学校版）の活用】</p> <p>「下田モデルカード（小中学校版）」を参考に、「コミュニティ外との接触」の視点も考慮したうえで、各校の実態に応じた健康チェックカード（「下田モデルカード（小中学校版）」）を継続して使用し、児童生徒の健康管理に努めた。</p>
<p>今後の課題 方 向 性</p>	<p>株の変異や地域の感染状況を考慮しながら、「校内での感染拡大を最低限に抑える」「できる限り学びを止めない」ことを念頭に、教育活動を推進する。様々な新型コロナウイルス感染症関連の資料が届くが、各学校等が迷うことのないよう市教委が適切に情報を整理し、学校に迅速かつ適切に具体的な対策を示す。今後、「ポストコロナ」「ウィズコロナ」における学校生活をイメージし、充実した教育活動を推進する。</p>
<p>教育委員会 評 価</p>	<p>S 確実な成果を出している A 一定の成果を出している</p> <p>B やや成果が低い C 成果が低い</p>
<p>評価に対する コ メ ン ト</p>	<p>学校・園の職員が一丸となって感染症対策に取り組み、子どもたちが安全安心に過ごすことができるよう体制や環境を整備されている。行事や諸活動を進めるうえで様々な制約が生じたのは残念だが、適切に対応していたと考える。今後、「ポストコロナ」「ウィズコロナ」における魅力的な学校生活をイメージしながら、子どもたちが少しでも充実した学校生活・園生活を送ることができるよう、引き続き努力したい。</p>

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事 業 等	青少年海の家管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【青少年海の家】 施設の利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施 設 名</th> <th colspan="3">利 用 人 員</th> <th rowspan="2">使用料収入</th> </tr> <tr> <th>市 内</th> <th>市 外</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>青少年海の家</td> <td>133人</td> <td>909人</td> <td>1,042人</td> <td>7千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>・管理委託 120千円、光熱水費 59千円、消防設備点検委託 72千円</p>				施 設 名	利 用 人 員			使用料収入	市 内	市 外	計	青少年海の家	133人	909人	1,042人	7千円
	施 設 名	利 用 人 員				使用料収入											
市 内		市 外	計														
青少年海の家	133人	909人	1,042人	7千円													
検 証	<p>青少年海の家は、施設の耐震性を考慮し、平成24年4月から宿泊制限を実施している。地元区誘致の市外からの教育旅行（8校 909人）や、市内の児童が宿泊体験教室（4校 133人）の入村式等で利用している。</p> <p>耐震工事など大規模工事は実施していないが、必要な小修繕を行いながら、施設の維持をしている。施設の老朽化に伴い、建物の貴重性を把握した中での活用方法について検討を行っている。</p>																
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>青少年海の家は戦前の木造校舎のため、記録保存調査を実施し、文化財的価値を把握した中で、施設のあり方・活用方法について継続して検討していく。</p> <p>活用方法の検討以外に、敷地の境界が確定していないため、地権者対応が必要とされる。</p>																
教 育 委 員 会 評 価	S 確実な成果を出している		A 一定の成果を出している														
	B やや成果が低い		C 成果が低い														
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>青少年海の家は、施設の老朽化が進む中、施設自体を今後どのように利活用していくのか、地元区の意見や専門的な意見も踏まえながら市としての方針を検討する。</p>																

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事 業 等	下田市民文化会館管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	【市民文化会館】 貸館事業状況					
	施 設 別			催 物 別		
	施 設	件数	利用者数	催 物	件数	利用者数
	大 ホール	70件	6,145人	集 会	1,273件	25,056人
	小 ホール	229件	13,747人	展 示	138件	9,982人
	大 会 議 室	300件	10,884人	音 楽・踊り	699件	10,994人
	小 会 議 室 (1・2・3)	591件	4,954人	映 画	10件	601人
	リハーサル室	355件	3,296人	演 劇	83件	460人
	そ の 他	355件	2,838人	そ の 他	236件	15,225人
	計	1,900件	41,864人	計	2,439件	64,136人
検 証	<p>※改修工事のため、大ホールは令和4年9月1日から令和5年3月31日まで使用禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館指定管理料 83,936千円 ・修繕料 641千円 ・大ホール天井改修監理業務 3,795千円 ・改修工事实施設計業務 8,296千円 ・市民文化会館改修工事 268,831千円 					
	<p>令和4年度も新型コロナウイルス感染症や大ホール改修工事の影響がある中、前年度比5,375人の増であった。指定管理者による文化事業は22事業を開催し、延べ4,982人の入場者となった。</p> <p>建築から30年以上が経過し、設備全般にわたって老朽化が顕著になっており、令和2年度より計画的な大規模改修を実施している。令和4年度においては、大ホール天井改修工事、大ホール舞台制御盤取替工事、大ホール音響設備改修工事、大ホールワイヤレスマイク機器取替工事、大ホール客席修繕工事、大ホール舞台幕更新工事、空調設備改修工事、自動火災報知設備更新工事(繰越明許)、排煙測定器取替修繕を実施した。また駐車場改修工事は駐車場電灯設備の部品供給に遅れが生じたため、翌年度に繰越した。</p>					
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>令和6年度までの大規模改修を計画に沿って実施する。</p> <p>アフターコロナを見据えた施設運営を実施する。</p>					
教 育 委 員 会 評 価	S 確実な成果を出している		(A) 一定の成果を出している			
	B やや成果が低い		C 成果が低い			
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	改修計画に沿って、計画的な改修ができるよう予算確保に努め、利用者の安全を確保し、魅力ある施設づくりを努めていきたい。					

1 施策体系・事業等

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

施 策 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができる施設・環境の整備	
事業等	公民館管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事業概要 (具体的施策)	【公民館利用状況】				
	公民館名	令和4年度		令和3年度	
		件数	利用人数	件数	利用人数
	中央公民館	1,919件	17,092人	1,638件	16,395人
	稲生沢公民館	364件	3,569人	400件	4,961人
	朝日公民館	486件	10,623人	441件	11,314人
	合 計	2,769件	31,274人	2,479件	32,670人
	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館電気設備改修工事(繰越明許) 8,288千円 ・委託料(維持管理・その他) 2,418千円 ・光熱水費 2,864千円 ・修繕料 323千円 				
検 証	<p>各公民館の生涯学習、コミュニティ活動、各種会議等の利用者は、31,274人であった。令和4年度においては、令和3年度からの繰越し事業となる中央公民館電気設備改修工事(繰越明許)8,288千円で実施した。</p> <p>また、中央公民館消防設備修繕1,078千円は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、部品供給に遅れが生じたため、1,100千円を令和5年度に繰越した。</p> <p>朝日公民館と稲生沢公民館については、廃止の方針であるが、廃止後の利用方法や公共空間の確保の観点から、令和5年度も存続することとした。</p>				
今後の課題 方向性	公民館統廃合について、地元区との協議を進め、基本方針に沿って統廃合を進めていく。また、存続する中央公民館のあり方について検討する。				
教育委員会 評価	S 確実な成果を出している		A 一定の成果を出している		
	B やや成果が低い		C 成果が低い		
評価に対する コメント	すでに公民館を廃止した地区との平等性を保つよう、地元区との協議を進め、継続して統廃合を推進する。				

令和5年度 下田市教育委員会の点検・評価シート（令和4年度事業）

1 施策体系・事業等

施 策 体 系	取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組		
	◇5つの取組を推進するために教育環境の 基盤整備に取り組みます	○生涯にわたって学び続けることができ る施設・環境の整備	
事業等	図書館管理運営事業	担 当	生涯学習課

2 事業概要・評価等

事 業 概 要 (具体的施策)	<p>【未来の下田図書館プロジェクト】図書館ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和4年8月21日(日) 市民文化会館 大会議室 『ドキュメンタリー映画の視聴と新しい図書館について』 参加者：20人 ・第2回 令和4年10月16日(日) 市民スポーツセンター 視聴覚室 『未来に向けた下田のわくわく図書館プロジェクト』 参加者：21人 ・第3回 令和5年3月12日(日) 市民文化会館 大会議室 基調講演「海士町の島まるごと図書館構想への取り組み」 講師：島根県隠岐郡海士町中央図書館 館長 磯谷 奈緒子氏 『未来の下田図書館について』 参加者：48人(内一般:24人) (小・中・高校生、園児保護者、図書館関係団体等からの推薦者) <p>下田市立図書館整備計画基礎調査業務委託 1,580千円 前提条件の整理、下田市立図書館の候補地、仮設図書館の検討他</p> <p>【まちじゅう図書館事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下田まちじゅう図書館実施基準等の作成、フラッグ作成等 				
検 証	<p>図書館のあり方として、中核的な拠点と小さな拠点の整備が推奨され、中核的な拠点は、建設候補地の比較・検討により伊豆急下田駅周辺または市民文化会館敷地への立替が望ましいとなった。ただし、多くの公共施設整備の課題等を抱えていることから、仮設図書館の案や、現図書館の一時的な安全性を確保(簡易的な耐震補強工事)することなどが報告された。</p> <p>下田まちじゅう図書館については、準備の遅れにより年度内に開始ができなかったが、事業の諸条件等を整理し、実施基準を定めた。</p> <p>まちの図書館(館長)に依頼するためのチラシ等を作成して準備に取り組んだ。</p>				
今 後 の 課 題 方 向 性	<p>市の公共施設のあり方に関する計画策定に伴い、図書館単体ではなく、生涯学習施設としてのあり方や市民サービスなどの考え方を整理したい。</p> <p>引き続き、中核的な拠点及び小さな拠点の課題、可能性について検討していく。</p>				
教 育 委 員 会 評 価	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">S 確実な成果を出している</td> <td style="width: 50%; border: none;">A 一定の成果を出している</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 5px;">B やや成果が低い</td> <td style="border: none;">C 成果が低い</td> </tr> </table>	S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している	B やや成果が低い	C 成果が低い
S 確実な成果を出している	A 一定の成果を出している				
B やや成果が低い	C 成果が低い				
評 価 に 対 す る コ メ ン ト	<p>利用者と職員の安全性を確保するとともに、貴重資料の保存ができるよう、少しでも早く新図書館の整備に取り組みたい。また、関係する計画に基づき全庁的な検討をするとともに、各計画との整合性を図りつつ、持続可能な施設のあり方について協議を進めたい。</p>				

6 有識者委員会

下田市教育委員会の点検・評価に対する学識経験者等による知見の活用については、令和5年11月10日に下田市教育委員会の点検評価に関する有識者委員会を開催しました。

(敬称略)

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	原 和 秀	学校関係者 (元学校長)
副 委 員 長	猪 ノ 原 克 巳	学校関係者 (元学校長)
委 員	佐 野 晃 一	学識経験者 (公認会計士)
委 員	進 士 葉 子	学識経験者 (民生委員)

7 有識者委員会の意見

下田市教育委員会の令和4年度実績事業については、令和3年3月に策定された第二次下田市教育大綱の6つの取組に基づき、教育委員会が内部評価を行った40事業に対して点検評価を実施しました。

評価対象の40事業中、S「確実な成果を出している」と評価された事業が5事業、A「一定の成果を出している」(新型コロナウイルス感染症の影響があった事業を含む。)と評価された事業が28事業、B「やや成果が低い」(新型コロナウイルス感染症の影響があった事業を含む。)と評価された事業が6事業、C「成果が低い」と評価された事業が1事業でした。

有識者委員会における点検評価に際しては、教育委員会から提出された自己点検・評価シート、令和4年度主要な施策の成果等の資料を基に、事務局からの説明、教育委員からの補足説明を受け、質疑を行いました。

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症に収束の兆しが見え、人の移動が再開・活発化する中で、少しずつ本来やりたかった事業が実現されてきたように思います。しかしながら物価高騰等もあり、限られた財源の中で取組を進めていくには依然として厳しい状況です。その中で相応の成果を確認することができ、おおむね適正に実施できたものと評価します。

また、昨年度の有識者委員会における指摘事項についても改善に真摯に取り組んでいただきました。

特に、教育委員会の内部評価でもS評価とされた体験プログラム事業については、感染拡大防止に努め工夫しながら95回の体験事業を実施しました。全ての学校で前年よりも多くの活動を行っており、下田市の恵まれた自然や歴史・文化を生かした体験学習により、郷土を愛する地域人材の育成に貢献したことを大いに評価したいと思います。

一方、B評価とされた芸術文化振興事業については、まどが浜文化イベントの実施という評価できる点もあるため、令和4年度の反省点を踏まえた計画的な推進を期待します。

今後も点検評価を通じ、課題等に真摯に向き合い、学校、地域、市民の声を反映した事業を積極的に展開するとともに、下田市教育大綱に基づき、より効果的な教育行政の推進と教育環境の更なる充実を目指していただくことを願います。

下田市教育大綱に定める6つの取組に対する質疑応答の要旨は、次のとおりです。

【取組1 下田を感じる、味わう、好きになる取組】

○体験プログラム事業	
有識者委員	昨年度よりかなり取り組みが進んでいる。
○青少年健全育成事業、社会体育活動推進事業	
有識者委員	一昨年はサーフィン教室のみであったが、昨年はオリジナルフォトフレーム作り体験教室、和菓子作り教室ができ、一定の成果をあげている。中止になっている事業もあるが、どういった状況での評価か。
教育委員会	地域おこし協力隊がスポーツ大会誘致に尽力してくれている。1名退団したが、独立して吉佐美にカフェを開業、家族で移住して一般社団法人を立ち上げるとのことで、一定の成果はあったと判断している。
○成人活動推進事業、公民館活動推進事業	
有識者委員	前年度「新たな講座の実施を検討していく」という方向性を記載しているが、取り組みを見ると新たな講座という記載はされていない。
教育委員会	事業的には変わっていないが、内容的にはコロナ前のように開催することができるようになってきた。令和5年度は図書館のイベントを大学と連携して企画したり、中止にはなったが、特別講座として「フランスの漁業」や、親子磯遊び教室という新しい講座を予定していた。令和3年度にできなかったことが従来通りできたため（A）と評価した。
○芸術文化振興事業	
有識者委員	令和4年度は下田市芸術祭や、まどが浜文化イベントを実施できたということで（A）評価でもよいのでは。ただ、昨年度の点検評価で文化まちづくりアンケートを実施し、現状と課題を確認するという記載がある。具体的に何か進捗はあったか。
教育委員会	アンケートは実施したが、うまく反映できていない。芸術祭はコロナ前のように参加団体が戻ってきてくれると見込んでいたが参加が少なかった。周知等、工夫の余地はあったのではと感じている。まどが浜文化イベントは今年が2回目となり、参加した子ども達が空手やダンスを習い始めたり、効果を実感している。
有識者委員	まどが浜文化イベントはどの程度予算を計上しているか。
教育委員会	およそ100万円程度を計上している。
有識者委員	民間ではこれだけの規模のことをやるのは大変なので、行政が企画してくれるのは子ども達にとってもありがたいこと。
○市史編さん事業、芸術文化振興事業	
有識者委員	「文化財等の保護保全に努め」に関連し、ベイステージに市史編さん室があるが、新庁舎へ移転するのか。
教育委員会	新庁舎の計画変更により白紙となっている。道の駅から市史編さん室が移転すれば、観光面で有効活用できると考えている。貴重な資料については、津波による影響を受けない場所が良いとしているが、立地が限られるため検討中である。
有識者委員	観光と道の駅の活用は重要なので兼ね合いが難しいと思う。それとハーバーミュージアムの利用が少ないため、教育委員会が関わって場所を含め検討するよう働きかけた方がよいのではないか。
教育委員会	近日中に検討会が予定されている。活用については、またご意見をいただきたい。

【取組2 未来について思考する取組】

○英語力向上推進プロジェクト事業・英語検定受験推進事業・ALT、外国語指導助手配置	
有識者委員	英検受験者が100人くらい減っているのは希望制にしたからか。希望制にせざるをえなかった理由は。
教育委員会	統合の影響で試験官を務める教員数が足りず、全校実施が難しかった。
有識者委員	1年生から受験するのは難しいのではないかと感じた。受験者の減少は見られるが、希望制でよいのではないか。市の補助があったから受けてみようという生徒がいたが、希望制にすることで減少したのではないか。事業自体は素晴らしいと思う。
教育委員会	補助がある時、1年生が70人くらい受験したことがあった。その時の結果を踏まえ、希望制が適切ではないかという判断もあった。
有識者委員	1年生に限らず、よりたくさんの子供生徒が受験できるような環境をつくるのが大切だと考える。
教育委員会	中学校は希望制で定着してきている。小学校の回数を増やすことを検討している。
有識者委員会	ALTの予算が令和3年度より上がっている。人数が変わったのか。1人あたりの給与がアップしたのか。
教育委員会	授業を行った回数で支出している。予算の増加は、ALTを活用した授業が増えたことによる。かつては直接指導していないと支払われなかったが、授業を充実させるための準備時間も勤務として認めていただいたため、各校数時間「教材研究」を位置づけている。
有識者委員	財政の関係でこの1年、社会教育事業が縮小していったかなと思うが、学校教育の補完ではなく、下田市の資源を活用して市が育てるという気持ちでやっていただきたい。
○未来の下田創造プロジェクト	
有識者委員	この会合を通じて何が生まれているか。
教育委員会	小中高、幅広い関係団体の方に協力いただき、ワークショップにて自由に意見を出し合い、ビジョンシートを作成したり、立場の異なる人間とディスカッションを行ったりしている。ここでのアイデアを持ち帰り、体験プログラムや総合的学習につなげたり、中学・高校間でお互い授業参観したり、関係性の構築にもつながっている。 令和3年度までは中学校統合があったため、統合に向けて「どんな学校をつくっていきたいか」という話を中心に進めてきた。グローバルシティプロジェクトや探究的学習を進めていく上で、年度毎、学校毎で実施するのではなく、今後のビジョンやロードマップを作成する必要があるのではないかとということになった。令和4年度はビジョンシートという形で段階毎に身につける力を具体的にしていって。
有識者委員	具体的なものはできあがっていないということか。
教育委員会	たたき台をつくった。 この会議はこれまでに18回実施されている。会議を重ねているんな意見を出し合い、今の下田中学校の校訓、学校教育目標、方針、理念が成り立っている。この会議なくして今の下田中学校の統合にはたどり着けなかった。今は小学生に視点を向けたり、高校の先生に入ってもらって新たな視点を持ったりしながら、ロードマップの作成といった取組を進めている。
有識者委員	具体的な内容を検証に記載したほうがよい。
○青少年活動推進事業	
有識者委員	二十歳の集いは(S)評価となっているが。
教育委員会	事務局は(A)評価かとしていたが、参列していただいた教育委員長に素晴らしかったと評価していただき(S)となった。コロナ対策も適切に対応し、下田中学校の新体育館で実施し

	<p>ため、卒業式のように無駄話も無く素晴らしい式典となった。</p> <p>有識者委員 128人の参加とあるが、全体の何%か。</p> <p>教育委員会 81.5%となっている。前年度は86.7%であるため、若干減少した。</p> <p>有識者委員 今後も下田中学校で実施するのか。</p> <p>教育委員会 文化会館の工事が終われば、文化会館での実施に戻す予定である。</p> <p>有識者委員 下田中学校でやることの良さもあったように感じられた。</p> <p>教育委員会 文化会館で実施する時の対策として、保護者を1階に移し、対象者の席を前の方に決めてしまうことなどを検討している。</p>
<p>○地域人材活用・総合的な学習の時間</p>	
有識者委員	令和3年度の実施例とまったく一緒だが、間違いはないか。
教育委員会	例年同じ事業所に依頼するため、令和4年度については主なものはほぼ一緒である。今年からコミュニティスクールで地域の方のご意見をいただくことができた。更に法人会にもご協力
有識者委員	いただいて協力事業所数が増えた。
教育委員会	総合的な学習において、例えば産業振興課であったり市役所内の他の課と横断的に連携するとよい。 観光交流課、環境対策課等で体験受け入れ先として手を挙げてもらっている。 市役所内では個人情報など機微情報を扱う関係もあり、できる課とできない課がある。コミュニティスクールの活動もあって、職場体験はかなり拡大したと感じている。
有識者委員	事業所は90程度ある。近隣市町の事業所や、自衛隊等も受け入れ先としてある。 下田の良さを感じることができる職場体験をしていく必要がある。
<p>○公立保育所・認定こども園・幼稚園・民間保育所事業</p>	
有識者委員	牧之原市では通園バス等に安全対策をとるということになっている。下田市は令和4年度には実施したか。
教育委員会	実施していない。令和5年度事業として、国から6月までに安全対策を行うとされている。その期間内に安全装置をつけた。私立の保育園についても同様。
<p>○放課後児童対策事業</p>	
有識者委員	全地域をカバーできたということで(S)となっている。
<p>○地域子育て支援センター運営事業・ファミリーサポートセンター事業・子育て支援事業</p>	
有識者委員	ファミリーサポートセンターの利用実績が増えたということで(A)になっているという認識でよいか。
教育委員会	一定の支援を必要とする乳幼児の対応を、コロナ環境下でも一定の対応ができたということで(A)という評価になったと認識している。
有識者委員	子育て支援事業もかなり多いと感じる。
<p>○子ども子育て会議</p>	
有識者委員	令和4年度は子ども子育て会議1回開催ということだが、1回で十分だったということか。
教育委員会	会議の目的は主に第二期子ども子育て支援計画に基づいた進捗状況の管理である。昨年は幼保再編のため、下田幼稚園の方向性づけを行った。
有識者委員会	廃園についての協議内容が多かったということか。それまでは相当数開催していたが、令和4年度1回となると疑問。名目が子ども子育て会議なのでいかなものか。
教育委員会	教育委員会が所管するのは子ども子育て会議だが、福祉の所管である子育てネットワークも年に数回あり、子育て支援に関してはこれだけではない。年間を通して何らかの会合がもたれて検討されている。

○児童生徒適応指導事業・特別支援教育体制推進事業

- 有識者委員 24人の特別支援教室の支援員が配置されているが「今後も更に需要が高まり」とコメントにある。特別支援対象の子どもは現在では増えている。24人で足りているか。
- 教育委員会 今年度、現場の要望があり6月の補正予算で1人分増やし、10月から1人増えている。児童生徒の数は減少しているが、支援員を必要とする児童は逆に増えている現状がある。今後も対応していきたい。
- 有識者委員 現場の状況に応じて年度途中でも対応してよい。
- 教育委員会 インクルーシブ教育が進んでいるため、障害のあるお子さんや発達に課題を持つお子さんも同じ場所で学ぶというケースが増えてきている。必要が生じた時にプラスで配置できること体制づくりを進めたい。
- 有識者委員 そういう大事な部分をやってくれてありがたい。
- 教育委員会 中学校で通級ができたのは素晴らしい。通級がこれから大事だという実感がある。プラスで支援員を配置し指導や認知トレーニングを行うなど柔軟な対応が必要だと感じている。
- 教育委員会 今後、通級指導の重要性は更に高まり、特に発達通級が重要視されてくると思われる。下田中学校は今年度発達通級が新設されたが、令和4年度に育成枠をいただき、指導者の育成に努めた。すでに実績のあった稲生沢小学校にこの育成枠を配置し、その経験を生かして下田中学校の通級指導教室の立ち上げに関わってもらっている。指導者の育成は非常に大きな問題であり、発達に課題を持つ児童生徒に関わることでできる人材を育てながら対応していく必要がある。小学校は言葉と発達通級があり、中学校に発達通級はできたが、言語の中学校の必要があるか。小学校で指導していたものを中学校でどうするか、検討していきたい。一時的に通級に行く仕組みもできるとよいと感じている。
- 有識者委員 特別支援学級も市町に委ねられてきている。高校にも通級ができており、通級もその方向に向かう中、課題は指導者をどうやって増やしていくかということ。10年前は支援員の数は半分だった。ただ、その状況からはかなり配置が充実してきており、これから大幅に増やさなければいけないかということ、下田市の規模ではそうではないかもしれない。
- 有識者委員 必要に応じて年度途中からでも支援員をつけないといけないこともあると思う。臨機応変な対応を求める。中学校の通級も実現していただきたい。

○児童・生徒援護事業

- 有識者委員 「学校から保護者に制度の説明を行い」と記載があるが、実際にやっているか。紙の配布だ
- 教育委員会 けか。PTA 総会等で配って説明している。
- 有識者委員 紹介の方法も難しい。声をかけること自体が「生活に困っていませんか」になってしまう。制度の案内だけは確実にしていただきたい。

【取組3 居場所づくりに向けた取組】

○不登校等対策連絡協議会・いじめ防止への対応・生徒指導研修会・人権教育

- 有識者委員 不登校児対策連絡協議会に10回程参加しているが、会議が中途半端であるように感じた。民生委員と学校、教育委員関係者が参加するが、情報共有のみに留まり、話し合うことができない。全然知らない子のことを短い時間で話し合うことはできない。会議の内容を実のあるものにしたい。コロナの前は担当地区である朝日小学校に年1回会議を開いて「こんな子がいます」と密にやっていた。そういったことを話し合う会議を学校毎にやったほうがよい。大きな場では各学校の現状報告で終わってしまう。
- 教育委員会 貴重な意見をいただき感謝したい。教育委員会としても難しさを感じている。全体の会では

	<p>言えないこともたくさんあるし、誰かわからないため深い話はしづらい。教育委員会でも在り方について検討している。全体を集めたからできることもあるが、個別の話や、学校とその地区の民生委員が細かい話をできることが重要と思っており、仕組みづくりを検討していく。</p> <p>下田市のやろうとしていること等、大きな情報の共有などは協議会でよいと感じる。小さい集まりで個別の対応と合わせてやっていければよいと思う。</p>
有識者委員	評価の変更は可能か。
教育委員会	教育委員の評価に対する評価委員のコメントをいただくことになるので、変更はない。
有識者委員	教職員の人権感覚の向上が記載されている。不登校児にとって大事だが、それが26ページでは全面に出てきている感じに見受けられる。早期対応のために大事だが、ここでの事業は実際に不登校、いじめを受けている児童生徒に対する対応だと思うので、評価のコメントに違和感を感じる。
教育委員会	事業等は人権教育となっているが、事業概要そのものは不登校対策連絡協議会といじめ問題対策連絡協議会、専門委員会について書かれており、整合性がとれていない部分があると思う。人権教育が根底にあるものではあるが、書き方について検討する。
○学校公開・学校評価	
	特になし
○青少年健全育成事業	
有識者委員	コミュニティスクールに伴う地域学校協働活動推進員は何名か。
教育委員会	下田中学校で3名所属。
○通学路安全対策事業・青色防犯パトロール	
有識者委員	昨年の会議で、本郷交差点の道路上のポールは一時的な物で、将来的には用地買収を進めて歩道をつくりたいとのことであったが、進捗状況はどうか。
教育委員会	県が用地交渉を進めていると聞いている。いずれにしても山側に広がると聞いているが、具体的にいつから工事が始まるという話はない。
	移動経路安全推進会議で意見を伝えていく。
有識者委員	爪木崎入り口は対策済みという認識でよいか。
教育委員会	対応済み。それぞれの部署が子どもの移動経路安全推進会議で課題となった場所を対応した。
○児童・生徒通学費補助事業・中学生自転車安全対策	
有識者委員	評価（A）にしなければならない課題があったか。
教育委員会	自転車通学者90名に対して交付率が低く、周知を図ってもっと利用してもらったほうがよいという指摘を受けたため（A）となった。
有識者委員	保護者の保険に付加されているのも対象か。
教育委員会	自動車保険の特約として付加されているものも補助対象となる。1,000円を上限として交付する。
有識者委員	1,000円の補助だからだと思う。3,000円であれば申請も増えるのでは。
教育委員会	自転車保険自体が安い。数百円の交付という方もいる。2分の1の補助という要綱を改正し、一律補助にしたいと考えている。
有識者委員	自転車通学の子も達がみんな加入しているのであれば、制度を設けておくだけで十分では。
教育委員会	自転車保険の加入状況は学校でチェックしている。
○地域と連携した防災・防犯教育	

有識者委員	防災については具体的に中身がわからないので何とも言えないが、各学校で実施されているのか。
教育委員会	各校で実施している。
有識者委員	各学校で確実に実施しているので問題ないと思われる。

【取組4 資質・能力を育成する取組】

○市指定研究校への支援・研修主任研修の開催・校内研修への支援	特になし
○教育資金利子補給事業・奨学奨励費交付事業	特になし
○授業づくり支援・初任者研修会の開催	特になし
○授業づくり支援・初任者研修会の開催	特になし

【取組5 健やかな心身を育成する取組】

○小・中学生対外派遣事業補助金・部活動指導員配置事業	
有識者委員	サーフィンはかなり良かった。サーフィンのために移住してきた生徒も4人ほどいると聞いた。大変ではあるが、地域移行に向けても大事なところだと思う。
○学校給食管理運営事業	
有識者委員	給食費については（S）という評価。無償化だったということでありがたかった。
教育委員会	去年は無償化があった。今年是有償となっている。 来年度は食材費が上がるなど、色々と検討事項がある。
有識者委員	食材の値上げもあつたり、広島の給食業者みたいなこともある。下田市で広島のような心配はないと聞いている。
教育委員会	広島の業者は委託を受ける時、食材の購入費用も含めていた。下田市は食材を市が購入して業者に渡す手法なので、危険性はない。
○保健体育総務事務、社会体育活動推進事業	特になし
○下田市民スポーツセンター管理運営事業・吉佐美運動公園管理運営事業	
有識者委員	下田・河津間駅伝競走大会は中学校の参加が2チームだった。今年、要項の変更はあるのか。
教育委員会	中学校からは参加を強制できないため、難しい状況と聞いている。改善策として、走りたい生徒は中学校としての参加が無理でも、一般での出場が可能なように枠を広げたい。距離は1区が長く、第1中継所も危ないということもあり、河津町役場からのスタートとして1区・2区を短くし、通行止め区間内に中継所を持ってくるように調整している。
有識者委員	中学校の部になっているから出にくいのでは。地域で練習しているところが他の学校から集めてそちらの指導者が参加できるようにしたらよい。学校では試走ができない。
教育委員会	クラブチームなどでの参加を可能にする方向で検討している。いろんなチーム編成の可能性が出てくる。
有識者委員	今後の地域移行のためにもなる。
教育委員会	高校の部はサッカー一部などの部活動での参加もあるため、できるだけ幅広く参加できるようにしていきたい。

○道徳教育の充実	
	特になし
○学校司書の配置・新刊図書を購入、学校図書館蔵書管理システム導入	
有識者委員	図書購入費が12,391千円。感染症対策として小学校が8,400千円、中学校1,800千円とあるが、これは全額図書の購入に充てたのか。
教育委員会	全額充てた。前年は感染症対策がなかったなので、この分の購入が増えた。
○図書館管理運営事業	
有識者委員	図書館管理運営事業は評価(B)だが、図書館イベントがかなり耳に入ってくるので、来年度評価する時はAくらいの感覚か。
教育委員会	利用者はコロナ前には戻ってないということもあり、Bという評価にした。今年は図書館イベントを実施しているので、ソフト事業としてよいと感じる。まちじゅう図書館は52ページに記載がある。現在、体験型の町歩きを兼ねたものや、文学シンポジウムも取り組んでいる。

【取組6 教育政策推進のための基盤整備に向けた取組】

○小・中学校管理事業	
有識者委員	要望だが、異常気象で暑いため、特別教室、体育館の空調を整備していただきたい。避難所として使用することもあるため、真夏に災害があった時のためにもなる。
教育委員会	議会で話題にもなっており、財源の問題もあるが特別教室から順次進めていきたい。
○GIGAスクール構想の推進・小・中学校教育振興事業・賀茂地域校務事務共同化協議会	
	特になし
○スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーの配置・関係機関との連携	
	特になし
○新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	
	特になし
○青少年海の家管理運営事業	
有識者委員	海の家は大変だが、頑張ってください。あそこでガラス切りを覚えた。あんなに貴重な文化財は他にない。うまく改修して利用したほうがよい。
教育委員会	文化財的な価値があるか調査をしている。文化財指定をするにしても土地の問題もある。登記がされず学校として使わせていただいていた経緯もあり、その整備を優先している。文化財とすると保存の意味合いが強くなるため、活用することを中心に民間も含め検討したい。
○下田市民文化会館管理運営事業	
	特になし
○公民館管理運営事業	
有識者委員	最終的には中央公民館だけ残るような状態になると思うが、教育委員会は新庁舎に移転するか。
教育委員会	移転する。1階は空くため、そこを含め検討する。
○図書館管理運営事業	
有識者委員	伊豆急下田駅周辺または市民文化会館が望ましいとある。是非駐車場がある図書館をつくっていただきたい。毎年何回も要望しているが、改善されるよう言い続けている。
教育委員会	要望として多いため、承知している。

8 下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会設置要綱

平成21年7月27日教育委員会告示第9号

(設置)

第1条 下田市教育委員会（以下「教育委員会」という。）の権限に属する、事務・事業の管理及び執行の状況についての点検・評価を行うことで、地域の実情と住民ニーズに応じ、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、事務・事業の管理及び執行状況についての透明性の確保と市民への説明責任を果たすため、下田市教育委員会点検評価に関する有識者委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 教育委員会が実施する事務・事業の点検評価に関すること。
- (2) その他委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内で組織する。

- 2 委員は、教育に関する識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。
- 3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は、委員の互選によりこれを定める。
- 3 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する者をもって充てる。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が会議の議長となる。

- 2 委員長は、必要に応じて会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。
- 3 委員会の会議は、原則として公開とする。

(庶務)

第6条 委員会の庶務は、教育委員会学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、公示の日から施行する。
- 2 第3条第3項本文の規定にかかわらず、初回の委員の任期は、平成23年3月31日までとする。

令和5年度(令和4年度実績事業)
下田市教育委員会自己点検・評価報告書

発行日 令和5年12月

発行 下田市教育委員会

〒415-0024 静岡県下田市四丁目6番16号

TEL 0558-23-3929 FAX 0558-23-5176

E-Mail s-kyoui@city.shimoda.lg.jp